

宮崎縣都城中學校教諭	嶺	豐	雄石川、士
新潟縣高田師範學校教諭	三島	桂五郎	青森、平
和歌山縣德義中學校教諭	清水	常郎	三重、士
東京府師範學校教諭	森田	要作	愛知、平
山梨縣農林學校教諭	關	亮一郎	岩手、平
●明治三十九年 三月卒業	今井	嘉橋	埼玉、士
官費修身教育專修科	今村	豐明	福岡、士
福井縣師範學校教諭	西村	直充	鹿兒島、士
大分縣大分高等女學校教諭	細川	益之	高知、平
死亡	尾坂	昇	青森、士
廣島縣師範學校教諭	大浦	倉之助	廣島、平
長野縣師範學校教諭	橫尾	繁六	佐賀、士
群馬縣師範學校教諭			
佐賀縣佐賀市小學校訓導			

東京府私立精華小學校教員	田代	勝之助	神奈川、平
島根縣視學	內田	勇作	京都、平
長野縣長野高等女學校教諭	栗原	隆吉	福島、士
千葉縣師範學校教諭	山本	盛太郎	千葉、平
千葉縣視學	小林	信	東京、平
埼玉縣師範學校教諭	秋山	兵三郎	群馬、平
私立宏文學院教員	佐藤	寅三	福島、平
青森縣師範學校教諭	澤	正大	分、士
北海道札幌高等女學校教諭	齋藤	忠雄	北海道、士
岡山縣私立金川中學校教員	木下	剛三郎	岡山、平
德島縣師範學校教諭	北村	倉之助	福岡、平
鹿兒島縣師範學校教諭	物江	齊	福島、平
神奈川縣橫須賀高等女學校教諭	森田	榮高	知、平

山口縣視學

●明治三十九年三月卒業

官費英語專修科

京都基督青年會附屬學校教師
 大阪府四條畷中學校教諭
 長野縣上田中學校教諭
 千葉縣木更津中學校教諭
 愛媛縣今治中學校教諭
 富山縣高等女學校教諭
 大阪府茨木中學校教諭
 東京府私立芝中學校教員
 本校研究科生
 朽木縣大田原中學校教諭
 新潟縣柏崎中學校教諭

關

靖茨城、士

伊東善吉宮城、平

池本靜太山口、平

橋本昌彦福島、士

豐永亦雄群馬、士

小田鶴次郎岡山、平

小沼興茨城、平

河村省一岐阜、平

加藤貞齋東京、平

菅野尋福島、士

吉野正己千葉、平

横山六郎長野、平

福岡縣中學傳習館教諭

上海居留民團小學校長

德島縣中學校教諭

佐賀縣小城中學校教諭

大分縣中學校教諭

奈良縣高等女學校教諭

大分縣農林學校教諭

宮崎縣延岡中學校教諭

熊本縣私立鎮西中學校教員

山口縣德山中學校教諭

東京府私立聖學院中學校教員

山口縣工業學校教諭

●明治三十九年三月卒業

官費數學專修科

吉岡長三佐賀、士

高橋榮七神奈川、平

竹井喜一郎京都、平

田村春雄兵庫、士

竹原達乎島根、平

長井彌太郎京都、平

中原三郎福岡、士

梅村藹靜岡、士

益本數雄熊本、平

寺岡平藏熊本、平

青戶研吉島根、士

平野秀造千葉、士

愛媛縣師範學校教諭	市川鏡太郎	愛知、平
清國政府應聘中	飯河道雄	福島、士
東京市私立芝中學校教員	蓮池良太郎	山形、平
静岡縣高等女學校教諭	新田香壽	新潟、平
福井縣福井中學校教諭	堀辰巳	大分、平
德島縣德島中學校教諭	岡田忠長	野、士
愛媛縣師範學校教諭	大槻良三	大阪、平
本校研究科生	大竹清五郎	新潟、平
茨城縣農學校教諭	鷺原顯亮	大阪、平
大分縣宇佐中學校教諭	和田宣一郎	愛媛、士
茨城縣水海道中學校教諭	川口文内	茨城、平
鹿兒島縣師範學校教諭	河合五三郎	愛知、平
山梨縣第二中學校教諭	加藤正順	福井、平

山形縣米澤中學校教諭	笠野俊三	和歌山、平
愛知縣第一師範學校教諭	片山齡助	愛媛、平
三重縣師範學校教諭	仲本三二	兵庫、平
山口縣萩中學校教諭	山本光三	廣島、士
大阪府四條畷中學校教諭	馬淵壽一	大阪、平
茨城縣師範學校教諭	松本傳次郎	富山、平
長野縣師範學校教諭	二俣順造	富山、平
山形縣庄内中學校教諭	駒野次郎	東京、士
長崎縣高等女學校教諭	後藤靜香	大分、平
滋賀縣師範學校教諭	寺澤英一郎	長野、平
山口縣德山中學校教諭	麻生重直	福岡、士
大分縣宇佐中學校教諭	佐藤美造	大分、平

●明治三十九年
三月卒業撰科

倫理、教育

國語、漢文

地理、歷史

動物、生理及衛生、植物、農學

●明治四十年三月卒業 研究科官費生×印ハ私費生

×山本 龜助 東京、平 小池 友七 群馬、平

●明治四十年三月卒業 研究科官費生×印ハ私費生

岩崎 長思 長野、平 原田 武雄 長野、平

落合 儀郎 福岡、平 ×太田代順郎 岩手、士

園田 愛之助 兵庫、平 椿 恭三 三重、士

栗原 隆吉 福島、士 松田 良藏 奈良、平

秋山 兵三郎 群馬、平 佐藤 充 德島、士

木下 剛三郎 岡山、平 物江 齊 福島、平

綿貫 惠祐 山形、士

中山 繁藏 福島、士

奧村 幸衛 德島、士

小島 美津次 福島、平

岡田 重作 愛知、士

蓮池 良太郎 山形、平

武田 登三 静岡、平

上野 源藏 福岡、平

赤澤 竹治郎 奈良、平

木下 遂吉 德島、士

季長 省三 愛知、平

鈴木 禮助 秋田、平

●明治四十年三月卒業 本科

國語漢文部

秋田縣師範學校教諭

北海道師範學校教諭

本校研究科生

茨城縣土浦中學校教諭

福島縣信夫郡小學校訓導

新潟縣師範學校教諭

福島縣安積中學校教諭

本校研究科生

鹿兒島縣川邊中學校教諭

沖繩縣中學校教諭

伊藤 春吉 山形、士

地主 彌一郎 秋田、平

大島 庄之助 新潟、平

尾崎 楠馬 高知、平

萩原 擴長 長野、平

萩阪 進治 兵庫、平

神作 孫吉 千葉、平

竹林 貫一 群馬、平

野々村 運市 島根、平

山口 泰平 熊本、平

大分縣師範學校教諭	前田 恒 治 兵庫、平
東京府女子師範學校教諭	藤井 重 二 山口、士
三重縣師範學校教諭	藤澤 熊 吉 石川、平
本校研究科生	小林 好 日 東京、士
三重縣師範學校教諭	江原 玄 治 郎 群馬、平
本校研究科生	寺澤 嚴 男 德島、平
埼玉縣女子師範學校教諭	佐藤 廣 治 福島、士
鹿兒島縣第二中學校教諭	城 戶 三 郎 石川、平
岡山縣淺口郡遙南小學校訓導	森 幸 左 衛 門 岡山、平
靜岡縣三島高等女學校教諭	關 野 榮 石川、平
英語部	
東京府師範學校教諭	岩崎 東 二 郎 三重、平
東京市私立芝中學校教員	井 上 春 吉 福岡、士

岡山縣岡山市尋常高等小學校訓導	石原 健 二 岡山、平
山梨縣師範學校教諭	尾崎 寬 一 岡山、平
秋田縣大館中學校教諭	川崎 市 藏 千葉、平
福島縣若松小學校訓導	片川 悅 藏 靜岡、平
山形縣米澤高等女學校教諭	勝 俣 浩 靜岡、平
福島縣師範學校教諭	高橋 彌 一 廣島、平
北海道上川中學校教諭	種 瀨 淳 一 三重、平
三重縣第三中學校教諭	中原 宇 三 郎 兵庫、平
千葉縣安房中學校教諭	中 川 丑 彌 愛媛、平
靜岡縣掛川中學校教諭	中 野 賢 作 靜岡、平
本校研究科生	中 島 桂 藏 千葉、平
鹿兒島縣第二中學校教諭	山 中 惠 教 大阪、平
大阪府今宮中學校教諭	前川 安 太 郎 三重、平

東京府第二中學校教諭	前田 恒樹 石川 士
岩手縣福岡中學校教諭	增澤 源太郎 福井 平
熊本縣商業學校教諭	福田 一光 大阪 平
千葉縣大多喜中學校教諭	宮崎 博 茨城 平
本校研究科生	三木 順 治 兵庫 平
本校研究科生	鈴木 濱 吉 靜岡 平
地理歴史部	井上 一宮崎 平
宮崎縣師範學校教諭	井上 嘉三郎 愛知 士
岩手縣師範學校教諭	池上 庄治郎 長野 平
佐賀縣鹿島中學校教諭	本田 喜八 熊本 平
佐賀縣師範學校教諭	近森 幸衛 高知 士
長野縣長野中學校教諭	大谷 德馬 高知 平
廣島縣廣島中學校教諭	

京都府第四中學校教諭	吉野 益見 廣島 平
岡山縣私立金光中學校教員	津谷 松藏 秋田 平
新潟縣佐渡中學校教諭	中村 福太郎 新潟 平
本校研究科生	上原 精一郎 長野 平
本校研究科生	山岸 貫治 新潟 平
東京府女子師範學校教諭	武藤 忠義 愛媛 士
本校研究科生	福原 惣三 福島 士
京都府第六高等小學校訓導	佐々 磨 磯 四 秋田 士
山梨縣師範學校教諭	目良 德造 千葉 平
靜岡縣師範學校教諭	三國谷 三四郎 青森 平
茨城縣土浦高等女學校教諭	森下 國松 靜岡 平
京都府第四高等小學校訓導	須甲 理喜 福井 平
數物化學部	

北海道上川中學校教諭
 千葉縣成東中學校教諭
 三重縣女子師範學校教諭
 岩手縣師範學校教諭
 秋田縣師範學校教諭
 京都府第一高等女學校教諭
 長崎縣對馬中學校教諭
 鹿兒島縣第二中學校教諭
 本校研究科生
 靜岡縣三島高等女學校教諭
 山形縣師範學校教諭
 福島縣安積中學校教諭

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)
 岩城 純 一岡山、士
 川崎 武 親福岡、平
 加納 安次郎 島根、平
 田野崎 重五郎 岩手、平
 武田 忠兵衛、平
 村上 武次郎 京都、平
 内田 英一 長野、平
 矢野 直治 大分、士
 小玉 新太郎 愛媛、平
 木原 齊廣 島、平
 北野 喜祥 靜岡、平
 飯塚 傳吉 岩手、平

島根縣第一中學校教諭
 埼玉縣師範學校教諭
 北海道師範學校教諭
 本校研究科生
 福岡縣女子師範學校教諭
 本校研究科生
 島根縣第二中學校教諭
 本校研究科生
 石川縣師範學校教諭

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)
 岡本 永一 兵庫、平
 金子 喜代太 高知、平
 河野 喜作 長野、平
 吉田 健兵衛、平
 村山 沼一郎 新潟、平
 野坂 竹太郎 青森、平
 船引 眞造 兵庫、平
 北島 美雄 福井、士
 清野 耕治 岩手、士
 京都府師範學校教諭
 長野縣下伊那郡飯田小學校訓導

茨木 一 京都、平
 早川 千尋 長野、士

福岡縣嘉穂郡飯塚高等小學校訓導
 大阪府富田林中學校教諭
 新潟縣高田農林學校教諭
 本校研究科生
 長野縣東筑摩郡鹽尻小學校訓導
 學習院助教
 本校研究科生
 群馬縣太田小學校訓導
 秋田縣高等女學校教諭
 本校研究科生
 奈良縣女子師範學校教諭

堀尾 實善 福岡、平
 岡崎 常太郎 岡山、平
 田川 秀夫 熊本、士
 田寺 寛二 兵庫、平
 田澤 正義 長門、士
 太茂野 直二 石川、平
 檜崎 淺太郎 岡山、平
 柳沼 彌右衛門 福島、平
 藤原 眞吾 静岡、平
 木村 榮吉 福井、平
 杉浦 勝治郎 兵庫、平

辻 助次郎 愛媛、平

●明治四十年
三月卒業撰 科

英語
 歷史
 植物
 國語、漢文
 動物、植物、生理衛生

内田 與八 徳島、平
 松野 仁左衛門 兵庫、平
 青木 秀治郎 千葉、平
 厚見 萬司 徳島、士
 平井 寛暢 大分、士

附 錄

第一 明治四十年三月本校卒業證書授

與式祝詞告辭學事報告

牧野文部大臣祝詞

本日高等師範學校卒業證書授與式ヲ舉クルニ際シ一言以テ祝意ヲ表
 ス今ヤ我邦戰後ノ隆運ニ際會シ諸種ノ事業勃興スルト共ニ教育ノ如
 キモ長足ノ進歩ヲ爲セリト雖其内容ニ於テ釐革整頓スヘキモノ蓋シ
 少シトセス殊ニ良教師ヲ得テ斯道ノ發達ヲ計ルハ刻下ノ急務ナリト
 ス此時ニ當リ諸子ハ正ニ其業ヲ卒ヘ任ニ教育ニ就カントス諸子ノ責
 ヤ重且大ナリト云フヘシ近時中等教育ノ弊動モスレハ浮華高遠ニ駛
 テ日常普通ノ事ノ如キハ舍テ、之ヲ顧ミサルノ風アリ是レ實ニ其本

旨ニ背ケルモノト云フ可シ諸子ノ出テ、育英ノ任ニ當ルヤ深ク此點ニ留意シ適切確實ナル知識ヲ授ケ崇高善美ナル品性ヲ陶冶シ常ニ實踐躬行他ノ師表トナリ以テ其任務ヲ盡サ、ル可ラス是レ本大臣ノ深ク諸子ニ望ム所ナリ

附屬中學校ヲ卒業スル者ハ小成ニ安ンセス將來益々進ンテ其所志ヲ達シ克ク次代ノ國民タルニ足ルノ素養ヲ修メサル可ラス聊カ希望ヲ述ヘテ諸子カ前途ノ成功ヲ祈ル

嘉納校長告辭

本校卒業生諸子ニ告ク諸子ハ此度本校ノ定メタル學業ヲ終ヘテ中等教員タル資格ヲ得ルニ至レリ多年師ニ就キテ教ヲ受ケタル諸子ハ今ハ自ラ師トナリテ人ヲ教フヘキ身トナレリ從來校長タリ生徒タリシ余ト諸子トノ關係本日ヲ以テ終ルヘキニヨリ此際特ニ一言ノ注意ヲ與ヘントス

諸子カ此後職務ニ就キテ各々執ルヘキ事業ハ生徒ノ訓練及教授ニシテ之ニ伴ヒテ生スヘキコトハ校長同僚其外職務關係者ニ對スル一身ノ處シ方ナリ生徒訓練ノ事ハ熱心事ニ當ルノミニテ容易ニ其奏功ヲ期スヘキニ似タリ然レトモ單ニ是ノミニテハ十分ナル訓練上ノ目的ヲ達スルコト能ハス必ス先ツ生徒訓練上ノ理想ヲ有セサルヘカラス又訓練セントスル生徒ノ性質習慣及智識ノ程度等ヲ詳カニシ以テ己ノ理想ヲ實現スヘキ良法ヲ工夫セサルヘカラス然ノミナラス己自ラ訓練ヲ施スニ適スル資格ヲ具ヘ模範トナリ儀表トナリテ其感化ヲ及ホササルヘカラス此等ノ事ニ關シ諸子カ學校ニテ學ヒタル所ハ總ニ其一端タルニ過キス諸子ハ茲ニ深ク思フ致シ研究ヲ積ミ工夫ヲ重ネ以テ訓練上ノ實績ヲ舉ケンコトヲ期スヘシ

智育ニ就キテモ學校ニテ教授シタル所ハ總ニ教員タルヲ得ルニ足ルル實力ヲ具ヘシメタルニ過キスサレハ諸子ハ此後大ニ修養ヲ積ミ以

テ完全ナル教員タラシコトヲ期セサルヘカラス殊ニ始メテ教鞭ヲ執
 レル際ノ如キハ教案モ未熟ナルヘク教法モ當ヲ得サルコトアルヘシ
 故ニ己ノ安心シ得ル程度ノ教案ヲ作り且教法稍熟練ノ境ニ達スル迄
 ハ其辛苦容易ナラサルヘシ又假令一度其方法ヲ得タリトモ日新ノ世
 ニアリテ徒ニ舊法ヲ墨守スルカ如キハ新進ノ教育家タル諸子ノ安
 スヘキコトニアラス諸子又能ク思フ茲ニ致シ日夜研鑽ノ功ヲ積ミテ
 其學識ヲ高メ其教案ヲ改メ且其教法ヲ工夫シ以テ良教師タル實質ヲ
 具ヘンコトヲ期スヘシ
 校長同僚其外職務關係者ニ對シテ其身ヲ處スル方法ニ就キテハ在學
 中時時注意シタルコトアレトモ此等ノ事ハ主トシテ實地ニ臨ミテ修
 業スヘキモノナレハ諸子ノ今後ハ實ニ之カ研究ノ好機會ナリト謂フ
 ヘシ
 凡ソ一旦職務ニ就キ多數ノ人ト事ヲ共ニスルニ至レハ己ノ意ニ滿タ

サルコト尠カラス然レトモ諸子ハ決シテ之カ爲ニ失望スルコトナカ
 レ多數ノ人相集レハ其意見一致スル場合モアルヘク又齟齬スル場合
 モアルヘシ是固ヨリ免ルル能ハサルコトナリ己ノ意見他人ト一致セ
 サルカタメニ不快ヲ感スルカ如ク他人モ亦其意見ノ一致セサルカタ
 メニ不快ヲ感スルナリ故ニ多數ノ人相集リテ事ヲナスニ當リテハ己
 ノ一部分ノ意見ヲ場合ニヨレハ大部分ノ意見ヲモ棄テテ他人ノ意見
 ニ從ハサルヘカラサル事アルヲ覺悟シ常ニ己ヲ空シクシテ人ヲ容レ
 一意自己ノ職分ヲ完全ニ盡スヲ以テ理想トスヘシ
 カク己ヲ空シクシテ其職分ヲ盡スカタメニ人ト相讓リテ事ニ當ルハ
 諸子ノ第一ニ心掛クヘキ事ナレトモ其事既ニ成ルニ至ラハ他人ヲシ
 テ己ノ意見ニ同意セシメ且己ノ意見ヲ行ハシムル迄ニ進マサルヘカ
 ラス此域ニ達センニハ第一ニ己ノ意見正當ナラサルヘカラス第二ニ
 衆人ノ中ニ立チテ十分ノ信用ヲ得尊敬ヲ受クルタケノ資格ナカルヘ

カラス蓋シ意見正當ナラサレハ他人ヲシテ同意セシムルコト能ハス
信用乏シケレハ正當合理ノ意見モ往々他人ノ同意ヲ得ルコト能ハサ
レハナリ

之ヲ要スルニ以上述ヘタル希望ニ副ハンニハ從來在學中ノ修業ニ幾
倍スル苦心ヲ爲ササルヘカラス諸子ハ本校ノ卒業ヲ以テ纔ニ高キ階
段中ノ一段ヲ上レルニ過キササルモノト考ヘ今後一日片時タリトモ倦
怠スルコトアルヘカラス

中學卒業生諸子ニ告ク諸子ハ本校附屬中學ノ課程ヲ履修シテ本日卒
業ノ證書ヲ得タリ諸子ノ多數ハ進ンテ高等ノ學校ニ入ルナラン今後
新シキ學校ニ入ラハ新シキ人ト共ニ學業ヲ修メサルヘカラス此等ノ
人ノ中ニハ諸子ノ益友モアルヘク又損友モアルヘシ今日マテ我中學
ニテ學ヒタル教育ハ損友ノ害ヲ避ケテ益友ノ益ヲ收ムル力ヲ養ヒタ
ラント信ス然レトモ害ハ表面ヨリ害ノ形トナリテ顯ハルル者ノミニ

アラス表面ハ益アルニ似テ其實ハ害ヲ爲ス者アリ諸子ハ能ク之ヲ察
知シ益ニ就キ害ヲ避ケンコトヲ期スヘシ又我中學ノ教育ハ單ニ自ラ
守ル力ヲ養ヒシノミナラスココヲ去リテ新シキ境遇ニ立チタル後他
人ノ害ニ陷レルモノヲ救ヒ進ンテ益ヲ他人ニ及ホス力ヲ養ヒタラン
ト信ス諸子ハ善ク此主旨ヲ體シ以テ我中學ノ特色ヲ發揮センコトヲ
期スヘシ

近年學術ノ進歩日日ニ著シク俊偉ノ士彬々トシテ輩出スルニ至レル
ハ固ヨリ國家ノ慶事タリ然レトモ學術其者ノミニテハ必シモ國ヲ益
スルモノニアラス學術ヲ善ク用フル人アリテ茲ニ始メテ國家ヲ益ス
ルニ至ルナリ庶幾クハ諸子向後孜々トシテ學術ヲ修ムルト共ニ自己
ノ品性ヲ修養シ他日國士ヲ以テ自ラ任スル人ト爲ランコトヲ務ムヘ
シ是余ノ特ニ諸子ニ屬望スル所ナリ

學事報告ノ大要 (幹事櫻井寅之助)

卒業式ニ當リ例ニ依リ本學年度學事ノ概要ヲ報告セン

(一)本校 學校教育ノ効果カ其ノ設備ノ如何ニ依リテ増減セララルヘキハ素ヨリ辯ヲ俟タス本校カ此ノ點ニ就キテ今モ尙ホ前年度ノ如ク諸種ノ不便ヲ忍ハサル可ラサルハ頗ル遺憾トスルトコロナリ然レトモ戰後ニ經營スヘキ業務ノ多端ナル今日ニ當リ徒ラニ設備ノ如何ヲ云々シテ教育ノ根本ヲ逸スルカ如キハ本校ノ執ラサルトコロナリ蓋シ教育ニ於テ最モ重ンスヘキハ教師其ノ入ヲ得ルニアリ是ヲ以テ本校ハ常ニ優良ナル教官ヲ招聘スルコトヲ力メ同時ニ俊秀ナル學生ヲ得テ將來良教育家タルヘキモノヲ養成センコトニ最其ノ力ヲ竭シタリ本學年ニ於テハ轉任又ハ留學等ノ爲メニ有力ナル教官ヲ失ヒタルモノ一ニシテ止マスト雖幸ニ相當セル後任者ヲ得テ之ヲ補缺シ加フルニ英語數學物理學及化學等ニ於テ數年間海外

ニ留學シ各其ノ專攻セル學術ヲ益々深ク研究シテ歸朝セル教授ヲ迎へ從來ノ教官及ヒ新ニ囑託セル講師ト共ニ協心戮力銳意教務ノ改善ニ盡瘁セリ

本校學生ハ年々多數ノ入學志願者ノ中ヨリ選擇セルモノニテ本學年ニ於テ新ニ入學セシメタル豫科生百十二名ノ如キハ千七十三名ノ志願者ヨリ拔擢シタルモノナリ青年ノ俊良ト認ムヘキ是等ノ學生カ克ク帝國ノ爲ニ獻替シ國士ノ粹トシテ有終ノ美ヲ濟スニ至ラシコトハ本校ノ切ニ希望スルトコロナリ

(二)寄宿舎 本校寄宿舎ハ前學年ニ於ケルカ如ク三箇所ニ在リ第一寄宿舎ニハ主トシテ上級ノ生徒ヲ容レ第二寄宿舎ニハ多ク下級ノ生徒ヲ收容ス後者ニ於テハ學生ニ規律正シキ生活ノ習慣ヲ與ヘンコトヲ期シ前者ニ於テハ多ク自ラ進ンテ本校教育綱領ノ精神ヲ發揮セシメンコトヲ力ム而シテ第三寄宿舎ニハ各學年ノ生徒約七十名

ヲ收容シ相互ノ親密ヲ計リ以テ各其ノ特風ヲ發揮シ互ニ相砥礪セシメンコトヲ期セリ

前學年ニ經營セル學校園カ本學年ニ於テ生徒各自ノ勞役ニ依リテ益々其ノ事業ヲ進メタルカ如キ或ハ苦學書生ヲ役シテ炊事ヲ自營シ夜間ノ餘暇上級學生交ル々々是等ノ書生ニ學科ヲ授ケ傍ラ實地授業ノ練習ニ資セルカ如キハ誠ニ眞摯ナル行動トシテ本校ノ嘉獎スルトコロナリ

(三)校友會 本會ニ於テハ各部益々發展シ校風ノ振作ニ於テ大ニ務メタル者アリ就中游泳部ハ職員卒業生及ヒ全學生ノ協力ニ依リ房州北條ノ海岸ニ百餘名ヲ容ルヘキ寄宿舎ヲ建設シテ其發達ヲ圖リ五湍ノ遠游者三十一名十湍ノ遠游者八名ヲ出シ徒歩部ニ於テハ新ニ徒歩術研究會ヲ起シ會員ノ遠距離競走ヲ行ヒ五里ノ道程ヲ一時間餘ニシテ到著セルモノヲ出セルカ如キハ本年度ニ於ケル著シキ事

項ニシテ校友會全部ノ一致活動セル春季大會及ヒ秋季運動會等ニ至リテハ前年度ニ比シテ更ニ一段ノ進境ヲ示シ本會役員ノ劃策會員ノ節制共ニ益々其ノ能力ノ發達セルコトヲ證セリ

(四)新卒業生 本日卒業スヘキ本科生ハ本校カ此ノ校舎ニ移轉セルト同時ニ入學シタルモノニテ其在學四箇年間ハ恰モ我カ帝國カ未曾有ノ大事件ニ遭遇セルノトキナリ故ニ本校カ設備其ノ他ノ諸點ニ於ケル年來ノ希望ヲ達スルコト能ハサリシ如ク是等ノ學生ハ當初二學年間ハ第二寄宿舎ヨリ通學シ最後ノ一學期間ハ附屬學校ニ赴ケル等不利ナル境遇ニ立チタルコト尠カラス然カモ異常ノ時運カ與ヘタル感化ハ其在學中ニ於テ既ニ幾多ノ光彩ヲ放タシメ更ニ昨年舉行セル滿州地方見學旅行カ有形無形ニ與ヘタル幾多ノ教訓ハ平素修業セルトコロト相俟チテ將來教育界ニ立タントキ克ク諸子ヲシテ諸般ノ缺乏ニ堪ヘ益々斯民ノ爲ニ奮勵セシムルニ至ルヘキ

ヲ疑ハサルナリ而シテ今日茲ニ卒業證書ヲ授與セラルヘキ者ハ
 研究科(二箇年課程) 三 同 英語部 二一 同 博物學部 一三
 同 (一箇年課程) 一九 同 地理歴史部 一八 撰科 六
 本科國語漢文部 二〇 同 數物化學部 二一 合計 一二一
 之ヲ本校創立以來ノ卒業生ニ加フルトキハ實ニ二千四百十一人ニ
 達ス

(五)現在生徒 本校現在ノ生徒ハ今回卒業スヘキ者ヲ合セ研究科六組
 本科十七組豫科三組專修科二組合計二十八組五百二名ニシテ撰科
 生ヲ合セテ此ノ人員五百二十九名外ニ聽講外國人二十五名ナリ又
 來學年ノ初ニ於テ入學セシムヘキ豫定ノ者ハ豫科百四十名文科兼
 修體操專修科三十七名農業植物專修科十七名研究科二十七名ナリ
 (六)附屬學校 附屬中學校現在ノ生徒ハ三百三十四名ニシテ之ヲ十學
 級ニ編成セリ而シテ本日卒業證書ヲ授與セラルヘキモノハ五十四

名ナリ内二名ハ清國人二十五名ハ附屬小學校初學年級ヨリ引續キ
 在學セルモノナリ今是等ヲ第一回以來ノ卒業生ニ加フレハ五百四
 十三名ニシテ新卒業生ノ多數ハ高等ノ教育ヲ受ケントスル者ナリ
 中學校カ本年度ニ於テ調査研究シタル事項ノ主ナルモノハ教室外
 ニ於ケル自習時間ノ調査、運動會及ヒ修學旅行ニ關スル研究、教授細
 目ノ編制等ニシテ修學旅行及ヒ教授細目ノ研究ハ數年前ヨリ著手
 セル所ナレトモ之ヲ完成センニハ尙ホ多クノ經驗ト研究トヲ積マ
 サルヘカラス然レトモ從來研究セシ結果ハ曩キニ文部省ニ申報シ
 又之ヲ實施シ居ルカ故ニ便宜ノ方法ヲ以テ公表セントス
 附屬小學校ノ現在生徒ハ第一部二百四十七名第二部二百十四名第
 三部百二十八名ニシテ今回各部ニ於テ課程ノ全部ヲ卒業セルモノ
 通計百四十二名ナリ同校カ本學年ニ於テ調査研究シタル事項ハ三
 十三件ノ多キニ達シ内文部省ニ報告セルモノ十二件アリ

本年度ニ於ケル參觀者ノ總數ハ四千四百四十四名ニシテ内父兄ノ參觀セルモノ二百九人アリ參觀者ハ斯クノ如ク年々益々増加シ第一部及ヒ第二部ニ於テハ九月以來參觀ノ人數ヲ制限シ第三部ニ於テハ一月以來校舍狹隘ノ爲メ全ク參觀者ヲ謝絶セサルヘカラサルニ至レリ

(七)附屬教育博物館 本館ノ建物ハ唯一ノ教育博物館トシテ頗ル狹隘ナルノミナラス亦極メテ不完全ナリ故ニ本年度ニ於テハ先ツ陳列場ノ整頓ヲ行ヒ新ニ特別室ヲ設ケテ須要ノ列品ヲ此處ニ移シ陳列ノ列品ハ之ヲ倉庫ニ送リテ排列ノ模様ヲ一變シ教育品製造業者諸學校官廳等ヨリ新ニ夥多ノ教育品ヲ蒐集シ更ニ從來ノ圖書閱覽所ヲ擴張シ以テ如上ノ缺點ノ幾分ヲ補ヒ觀覽者ノ便益ヲ圖レリ而シテ本年度ニ於ケル來觀者ノ總數ハ五万一千六百七十四人ニシテ内列品使用者三千二百九十四名圖書閱覽者一万八千七百一名ナリ

第二 入學志望者心得

入學試驗ニ關スルコト

當校生徒ハ通例一定ノ資格ヲ有スル者ニ就キテ試驗ヲ施シ選拔スル者ナレトモ各自從前ノ修業區々其途ヲ異ニスルヨリシテ本校ノ期望ニ合セサル者多シ仍テ茲ニ豫メ入學試驗ノ科目及ヒ程度ヲ定メ以テ入學志願者ノ指針トナス

一 豫科入學試驗ノ科目ハ試問、國語、漢文、英語、數學、地理、歷史、理科トス
試問ハ教育ニ關スル二三ノ問題ヲ出シテ之ニ答ヘシメ平素思想ノ傾向及ヒ精粗ヲ試ムルモノトス
國語ハ文法、解釋及ヒ作文ヲ含ミ就中文法ハ其全體ニ通シ特ニ普通文ニ於ケル應用ヲ能クスルヲ要シ解釋ハ普通文ニ就キテ簡明ニ其意義ヲ說述シ得ルコトヲ要シ又作文ハ迅速精確ニ普通文ヲ作り得

文字、熟語、語法等ニ誤謬ナキヲ要ス
 漢文ハ論語、孟子、史記、通鑑、學要ノ中ニ就キテ字義訓詁ヲ明ニシ其ノ
 意義ヲ簡明ニ解釋スルコトヲ要ス
 英語ハ簡易ナル英文ニユリ、ナシヨナル第五讀本、サイエンス、プリマ
 ー、ペインター、氏教育史ノ程度ヲ甚シキ誤謬ナクシテ音讀シ之ヲ明
 瞭ニ解釋シ及ヒ其文章中緊要ナル文法上ノ説明ヲナシ得ルコトヲ
 要シ又平易ナル短篇ヲ甚シク誤謬ナクシテ綴リ得ルコトヲ要ス
 歴史ハ本邦史、東洋史、西洋史ヲ含ミ、就中本邦史ハ最モ詳密ナルヲ要
 ス而シテ時、所ノ觀念ハ精確ナルヘク隨ヒテ各時代ノ範圍及ヒ特異
 ノ諸點ヲ記憶センコトヲ要シ、又政治、文學、宗教、技藝ヲ論セス凡テ顯
 著ナル人物ノ事蹟ヲ詳ニセンコトヲ要ス
 地理科ハ本邦地誌、外國地誌、及ヒ地文ヲ含ミ、就中本邦地誌ハ最モ詳
 密ナルヲ要シ又外國地誌ハ本邦ト親密ナル關係アルモノニ重キヲ

置クヘシ且ツ製圖法ノ大概ヲ心得ンコトヲ要ス
 數學ハ算術、代數、幾何ヲ含ミ、就中算術、代數ニ於テハ算法ノ理由ヲ了
 解スルト共ニ計算ニ熟達シ且ツ日常問題ノ解法ニ於ケル其ノ適用
 ヲ能クスルコトヲ要シ又幾何ニ於テハ平面及ヒ立體幾何中ノ重要
 ナル定理ヲ暗記シ其ノ應用ヲ能クシ且ツ簡易ナル面積及ヒ體積ヲ
 算定シ得ルコトヲ要ス
 理科ハ物理、化學及ヒ動物、植物ヲ含ミ、就中物理、化學ニ於テハ正確ニ
 其ノ學理ヲ會得シ且ツ近易ナル應用問題ノ解答ヲ能クシ殊ニ化學
 ニ於テハ無機物ハ勿論普通ニシテ簡易ナル有機物ニ關スル智識ヲ
 備ヘンコトヲ要ス又動物、植物ニ於テハ一般ノ事實ヲ正確ニ會得ス
 ルハ勿論且ツ普通ノ種類ニツキテ實地解剖上ノ智識ヲ備ヘンコト
 ヲ要ス
 前記諸科目ニ於テ特ニ其程度ヲ明示セサルモノハ凡テ師範學校

ノ程度ニ準ス

入學及學資ニ關スルコト

- 一 豫科生ハ給費自費ノ別ナク總テ寄宿舎ニ入ラシム豫科ヲ卒業スルトキハ直チニ本科ニ入學セシム
- 一 自費生徒ハ本校所定ノ制服食費寄宿舎費學用品費其他諸雜費トシテ年額凡貳百圓ヲ要スヘク尤モ學部ノ種類及年級ノ如何ニ依リ多少ノ差違アルヘシ
- 一 給費生徒ノ費額ハ前項ノ金額ヨリ各自支給ヲ受クル額丈ケヲ減スルモノトス
- 一 研究科生ハ給費生ニアリテハ本校本科(舊中學師範學科初等)又ハ專修科卒業生中ヨリ學校長之ヲ選拔シ文部大臣ノ認可ヲ經テ入學セシム自費生ニアリテハ内外國ニ於ケル官公私立ノ高等ナル學校ノ卒業生等ニツキ學校長ノ特ニ適當ト認ムル者ニ限り入學セシム

一 撰科生ハ總テ自費ニシテ入學試驗ヲ行ヒ入學セシム

第三 東京高等師範學校々友會規則

第一章 目的

第一條 東京高等師範學校々友會ノ目的ハ會員ノ精神ヲ修養シ身體ヲ鍛鍊シ以テ校風ヲ振作シ併セテ相互ノ親睦ヲ厚ウスルニアリ

第二章 會員

第二條 本會々員ハ左ノ四種ヨリナル

- 名譽會員
- 贊助會員
- 特別會員
- 通常會員

第三條 特ニ本會ニ功勞アル人ハ之ヲ名譽會員トナス

- 第四條 本校現在職員ヲ以テ贊助會員トナス
 - 第五條 本校前職員及本校卒業生ヲ以テ特別會員トナス
 - 第六條 本校生徒ヲ以テ通常會員トナス
 - 第七條 通常會員ハ評議員會ニ於テ定ムル所ノ會費ヲ納ムルモノトス
 - 第八條 通常會員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニヨリ校友會基本金ヲ積立ツルモノトス
 - 第九條 通常會員ハ入會ノ際入會金壹圓ヲ納ムルモノトス
 - 第十條 贊助會員ハ毎年贊助會員ノ會議ニテ定ムル所ノ割合ニヨリ本會通常經費ヲ寄附スルモノトス
- 第三章 會務分掌**
- 第十一條 本會ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ十一部ヲ置ク
- 談話部

- 雜誌部
 - 柔道部
 - 擊劍部
 - 弓技部
 - 徒歩部
 - 庭球部
 - 野球部
 - 短艇部
 - 游泳部
- 第十二條 談話部ハ會員ノ演說討論談話會ヲ開キ及ヒ校外ノ名士ヲ招聘シテ演說講話ヲ乞フコトヲ掌ル
- 第十三條 雜誌部ハ本會々誌ヲ發行シテ會務ヲ報告シ會員ノ論說文

藝消息等ヲ公ニスルコトヲ掌ル

第十四條 柔道以下ノ九部ハ各其名稱ニ應スル修練ヲ爲スモノトス

第四章 役員

第十五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一名
- 副會長 一名
- 幹事長 一名
- 部長 十一名
- 會計審査員 四名
- 評議員 若干名
- 幹事 四名
- 理事 各部二名

但シ一名ニテ二部以上ヲ兼ヌルコトヲ得

委員 各部若干名

但シ時宜ニヨリ臨時役員ヲ設クルコトアルヘシ

第五章 役員ノ選任

- 第十六條 會長ニハ本校々長ヲ推薦ス
- 第十七條 副會長幹事長及ヒ部長ハ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑ス
- 第十八條 會計審査員ハ評議員中ヨリ會長之ヲ依囑ス
- 第十九條 評議員ハ其十名ヲ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ其他ハ各學級ヨリ一名ツ、選出ス評議員ハ幹事理事若シクハ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス
- 贊助會員ノ評議員ハ部長ヲ兼ヌルコトヲ得
- 第二十條 幹事ハ通常會員ノ中ヨリ選出スルモノトス
- 第二十一條 各部理事ハ當該部委員中ヨリ互選スルモノトス
- 第二十二條 各部委員ハ各年級ヨリ一名宛選出スルモノトス

但シ庭球部短艇部及ヒ游泳部ニ於テハ本科各年級ヨリ二名專修科各學級ヨリ一名トス

第二十三條 臨時役員ハ贊助會員及ヒ特別會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ若クハ通常會員中ヨリ幹事長之ヲ依囑ス

第六章 役員權限

第二十四條 會長ハ本會々務ヲ總理ス

第二十五條 副會長ハ會長ヲ補佐シ臨時必要ノ場合ニハ會長ニ代ツテ會務ヲ總理ス

第二十六條 幹事長ハ庶務及ヒ會計ノ事務ヲ統理ス

第二十七條 部長ハ當該部ノ事務ヲ統理ス

第二十八條 會計審査員ハ會計事務ヲ審査スルモノトス

第二十九條 會長副會長及ヒ評議員ハ評議員會ヲ組織シ第三十四條ニ定ムル事項ヲ議ス

第三十條 幹事ハ庶務會計ノ事務ヲ處理ス

第三十一條 理事及ヒ委員ハ當該部ノ事務ヲ處理ス

第三十二條 幹事長部長幹事及ヒ理事ハ理事會ヲ組織シ第三十七條ニ定ムル事項ヲ議ス

第七章 役員ノ任期

第三十三條 副會長幹事長部長會計審査員評議員幹事理事及ヒ委員ノ任期ヲ一箇年トシ毎年十二月中ニ改選又ハ依囑ス

但シ翌年度豫算ノ決定卒業生送別會及ヒ第四十四條ニ關スル事項ヲ除クノ外ハ翌年第三月ニ至ル迄舊役員各所定ノ任務ニ従事スルモノトス

役員ノ改選期ハ評議員會ノ決議ニヨリ會長ノ許可ヲ經テ壹箇月以内變更スルコトヲ得

第八章 評議員會議

第三十四條 評議員會ノ決議スヘキ事項如ノ如シ

一 豫算ノ決定

一 本會豫算外支出ニ關スル件

一 本會規則ノ改正

一 其他特ニ重要ナル事項

但シ本條第一項豫算ノ決定ハ前以テ評議員ノ互選セル委員ノ審査ヲ經ルヲ要ス

第三十五條 評議員會ハ會長ヲ以テ議長トス

第三十六條 評議員會ノ議決ハ會長ノ許可ヲ經テ之ヲ執行スルモノトス

第九章 理事會議

第三十七條 理事會ノ議スヘキ事項左ノ如シ

一 豫算ノ編成

一 校友會大會陸上大運動會水上大運動會及ヒ卒業生送別會ニ關スル事項

二 第四十四條ニ關スル事項

一 本會々務ニシテ各部ニ通シテ關係スル事項

第三十八條 理事會ハ部長ノ一名ヲ以テ議長トス

第十章 會計

第三十九條 本會ハ會費寄附金及ヒ基本金ノ利子ヲ以テ歲入トシ一切ノ支出ヲ以テ歲出トス

第四十條 普通歲出入ハ豫算會議ニ於テ之ヲ定ム

第四十一條 本會基本金ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十二條 豫算外臨時支出ヲ要スルトキハ評議員會ノ決議ヲ要ス

第十一章 雜則

第四十三條 本會各部ノ細則ハ各部ニ於テ之ヲ定メ理事會ノ承認ヲ

經ヘシ

第四十四條 本會ニ功勞アルモノ及ヒ本會各部ニ於テ技能特ニ拔群ノモノニ對シテハ相當ノ方法ニヨリ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第四十五條 本會ノ贊助會員ニシテ本校ヲ去ルモノニハ紀念品ヲ贈呈スルコトアルヘシ

第四十六條 本會々員ニシテ死去シタルトキニハ弔詞或ハ弔慰金ヲ贈ルモノトス

第四十七條 本會ノ目的ヲ贊成シ寄附ヲ申込ム者アトルキハ會長ノ許可ヲ受ケ之ヲ受理スルコトアルヘシ

第四十八條 本會規則ヲ改正シ又ハ修正セントスルトキハ本會役員十名以上又ハ會員三十名以上ノ同意ニヨリ評議員會ニ提出スルコトヲ得

役員選舉内規

第一條 本會規則第二十條ニ於ケル幹事選舉ハ次ノ規定ニヨル
本科三年二人、本科二年一人、專修科三年一人トスルコト

第二條 本會規則第二十一條ニ於ケル各部理事ノ選舉ハ次ノ規定ニヨル

本科若クハ專修科三年ヨリ一人、本科若クハ專修科二年ヨリ一人ヲ當該部委員中ヨリ互選スルコト
但シ若シ專修科三年ヲ缺ク時ハ本科二年ヨリ二人トス

校友會基本金規定

第一條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランカ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

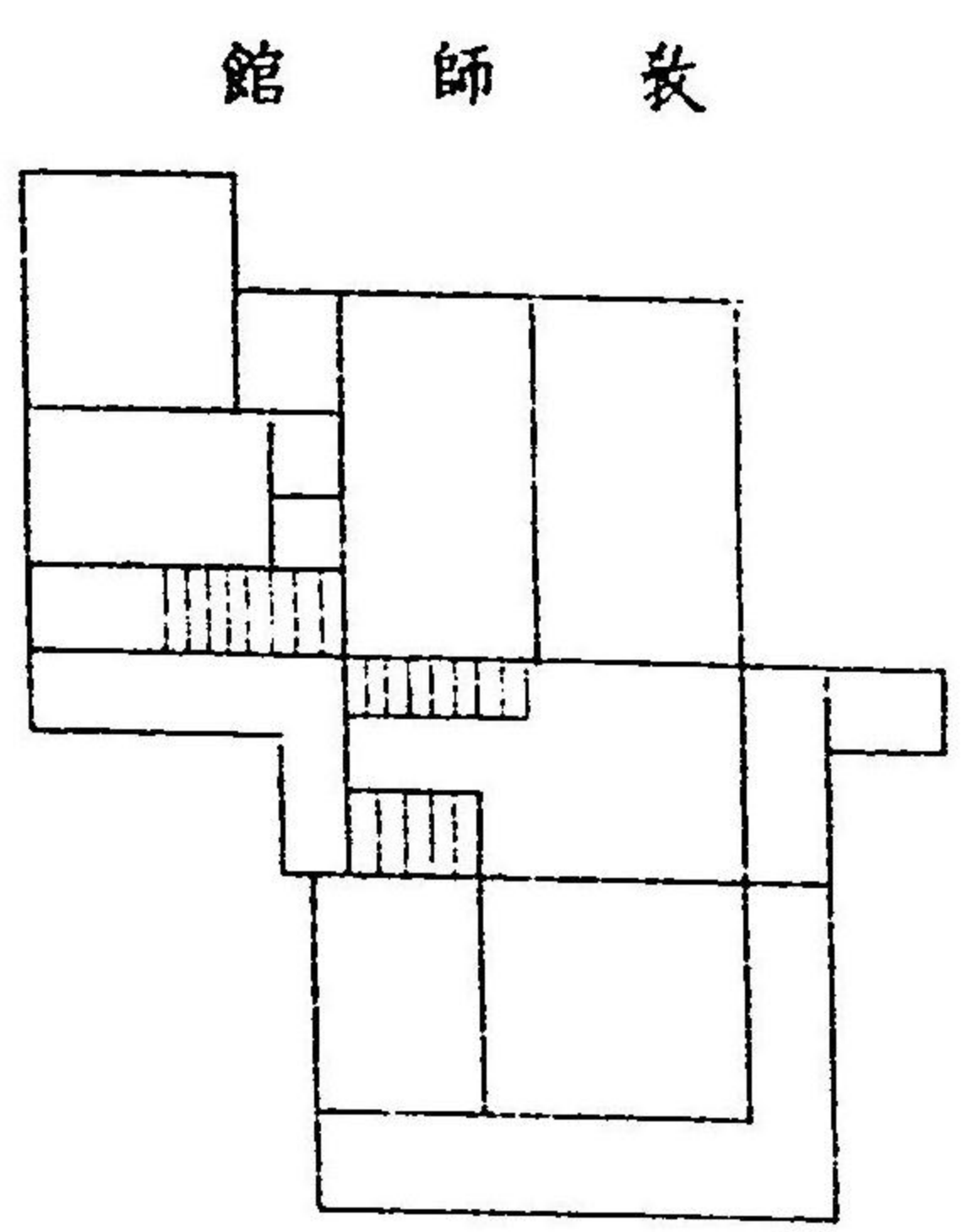
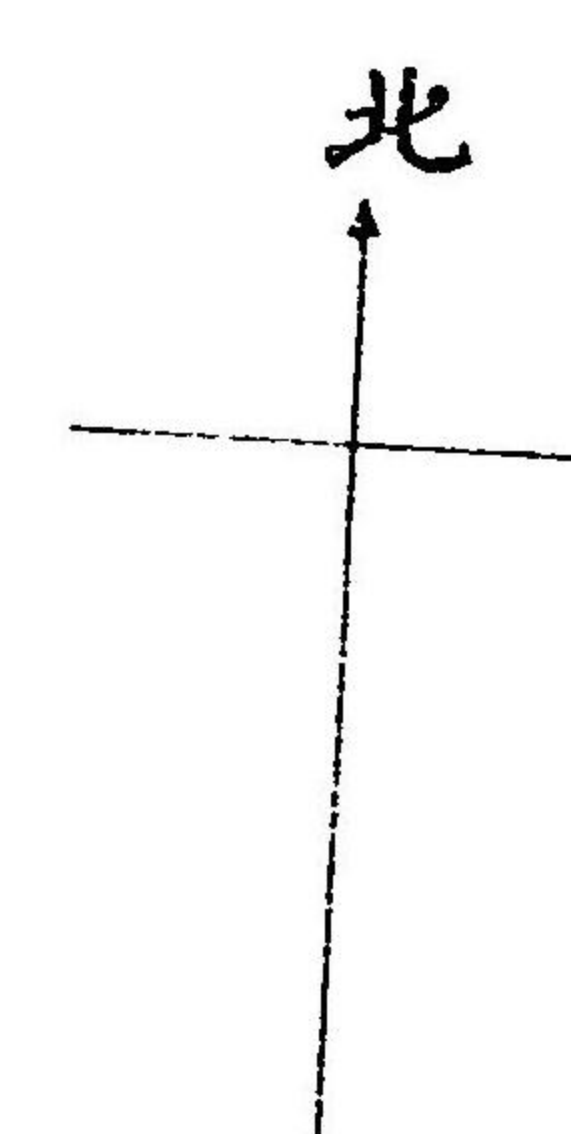
第二條 基本金ハ本會通常會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第三條 基本金原資ハ何等ノ事情アルモ之ヲ費消スルコトヲ得ス
 第四條 基本金ヨリ生スル利子ハ本會通常會計ニ編入ス
 第五條 基本金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ會長ニ於テ評議員會ニ諮詢シ之ヲ定ム
 第六條 基本金ハ通常會員ノ醵金贊助會員並ニ特別會員ノ寄附金及ヒ本會々計剩餘金ヲ積立ツルモノトス
 第七條 通常會員ハ基本金トシテ每年九月中旬金壹圓ヲ醵出スルモノトス
 第八條 會員以外ノ者ヨリ基本金ノ中へ寄附ヲ申込ムトキハ會長ノ承認ヲ經テ之ヲ受納スルコトアルヘシ
 第九條 基本金ニ關スル事務ハ本會々計之ニ任ス
 第十條 基本金ニ關スル公告ハ校友會々誌ヲ以テス
 第十一條 本規定ハ評議員會ニ於テ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得

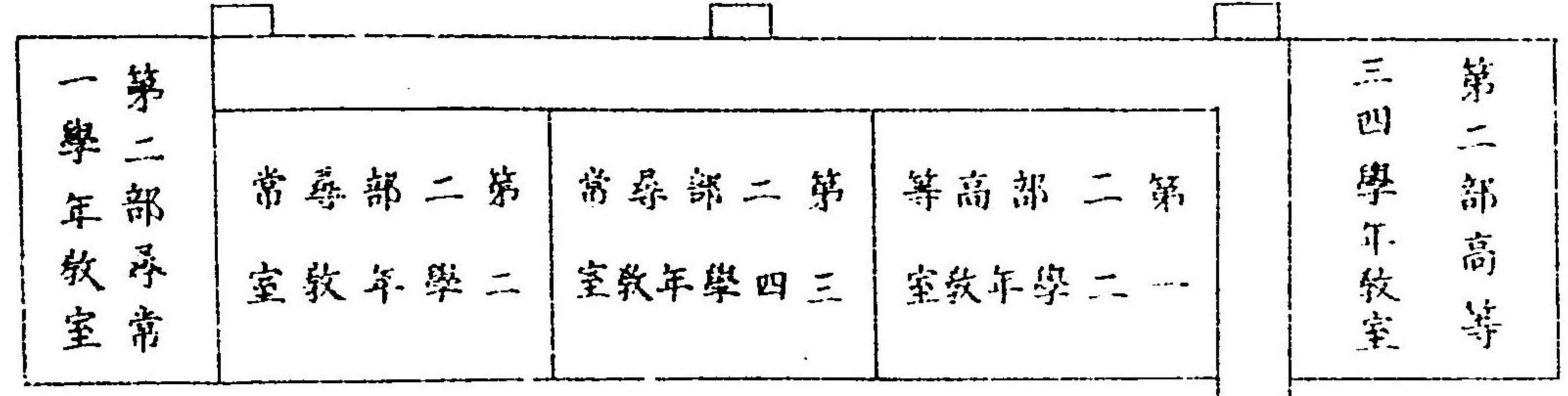
更ニ贊助會員及通常會員ノ總會ヲ開キ其出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ會長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ之ヲ變更ス
 前項評議員會及ヒ總會ハ少クモ一週間以前ニ開會ニ豫告スルヲ要ス
 第十二條 本規定ハ明治三十六年度ヨリ實施ス

(一其) 物 建 地 敷 校 學 範 師 等 高 京 東

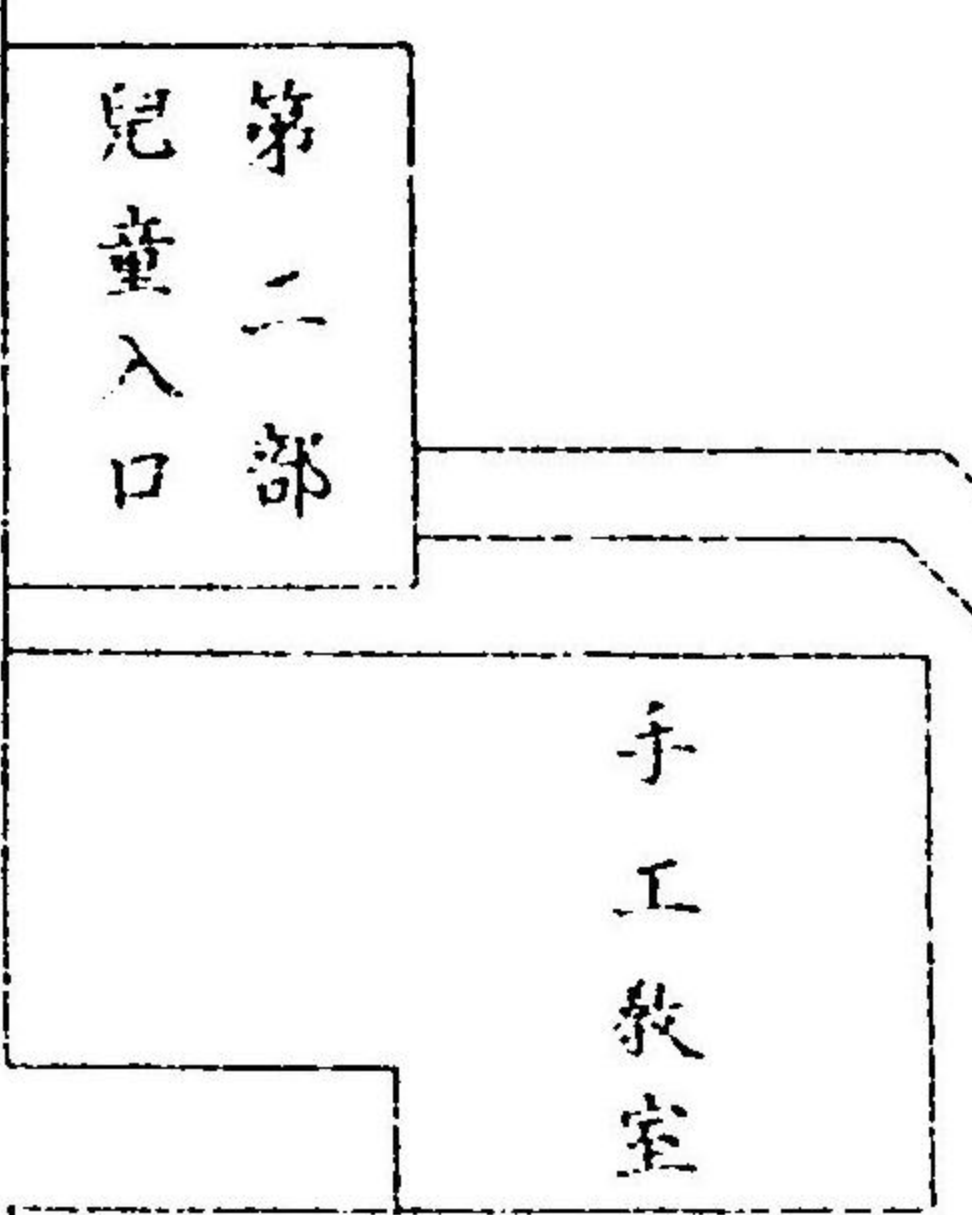
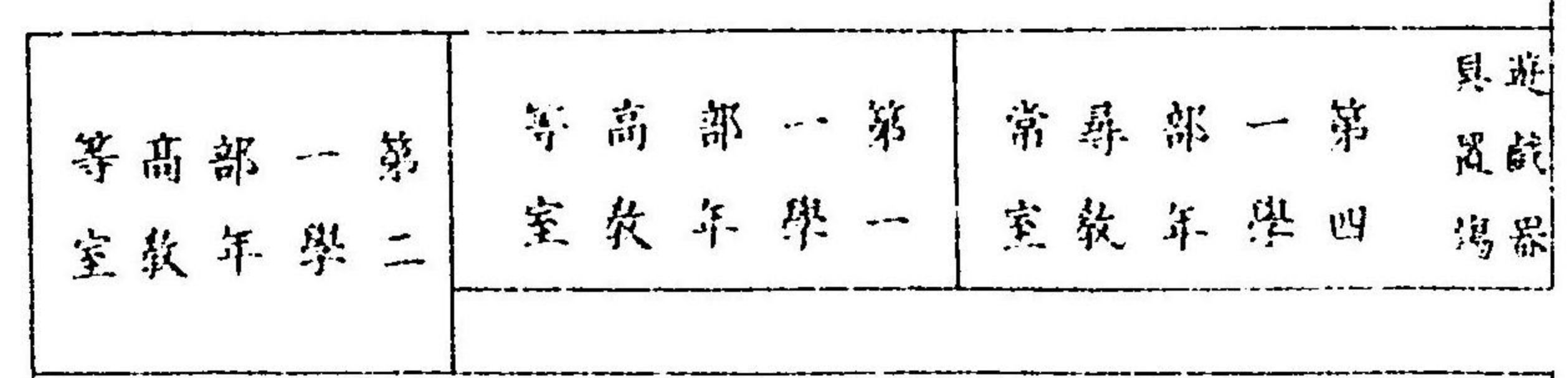
勻 三 合 五 坪 拾 二 百 九 千 四 坪 地 總
 勻 八 合 五 坪 三 十 四 百 八 坪 建
 勻 八 合 四 坪 八 拾 六 坪 階 二 二 外
 在 所 地 番 二 町 通 橋 ツ 一 區 田 神



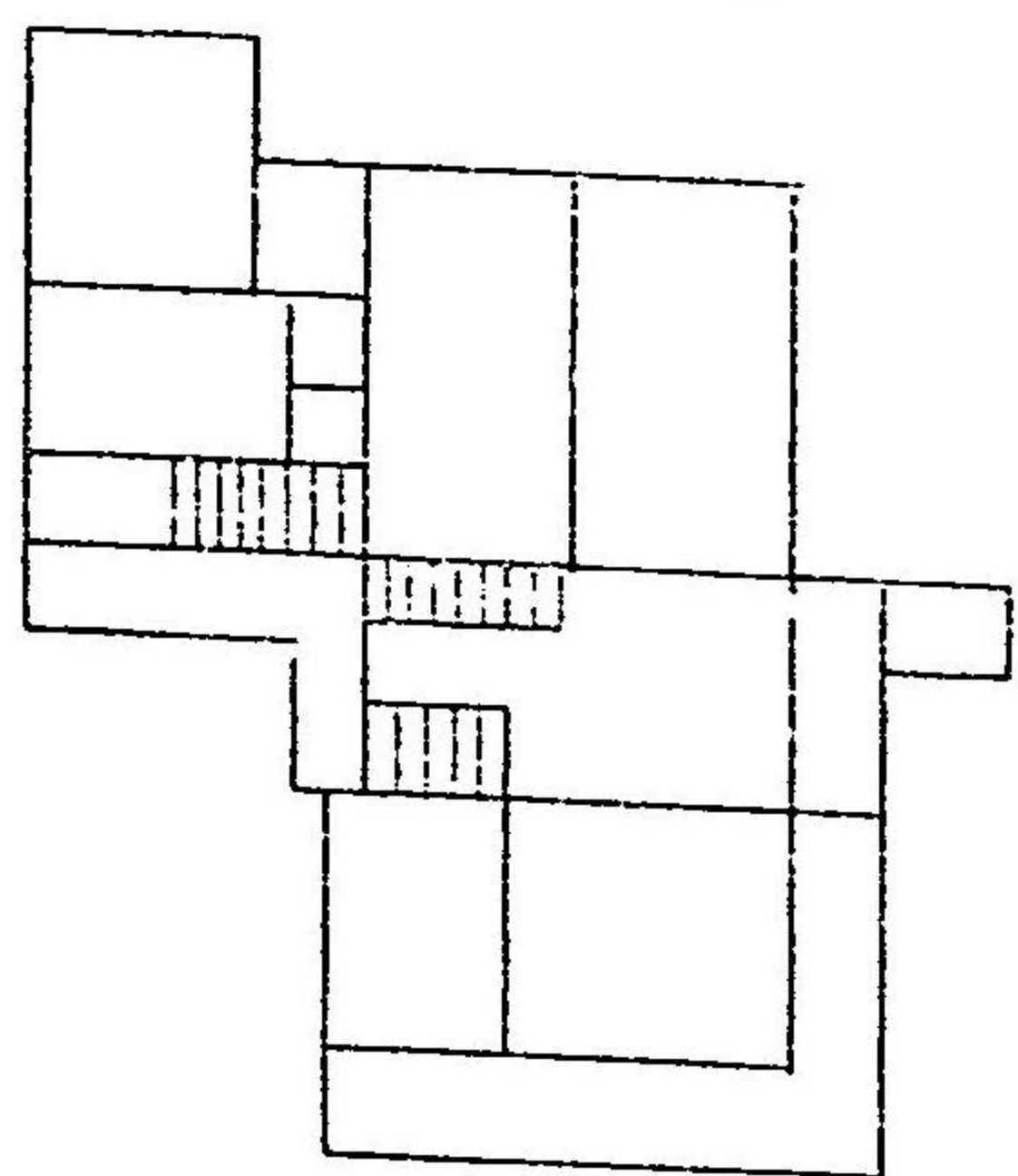
附



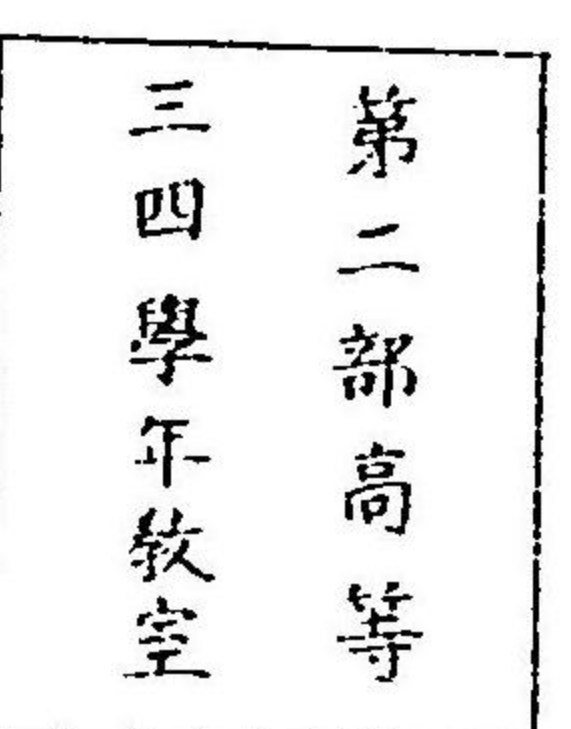
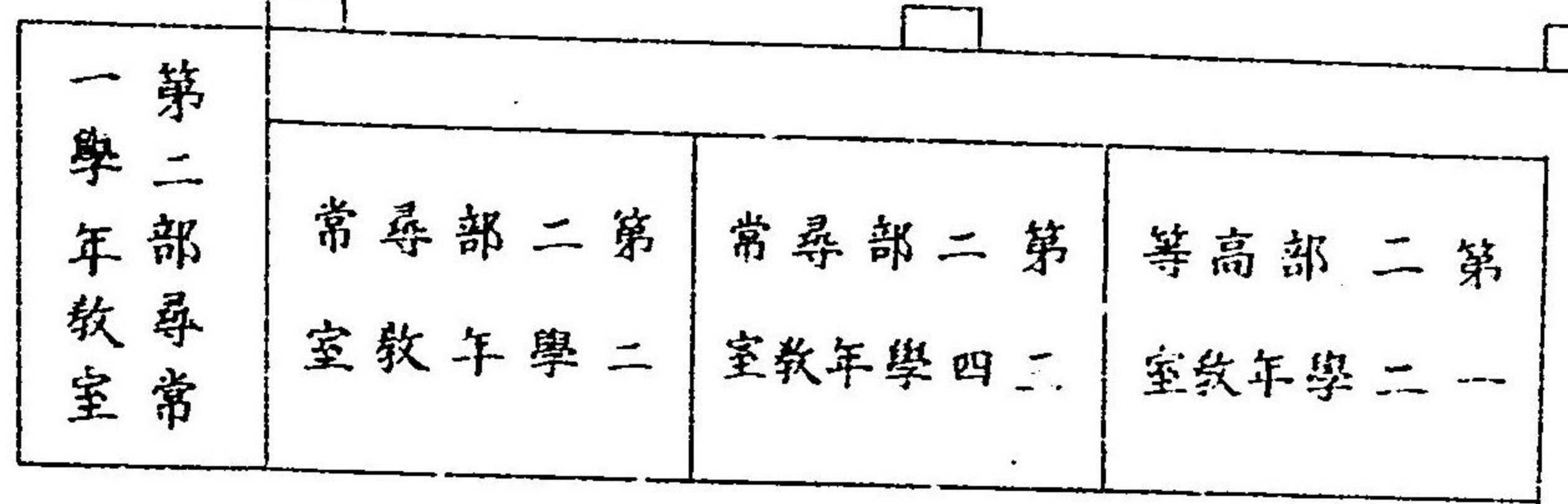
属



要門

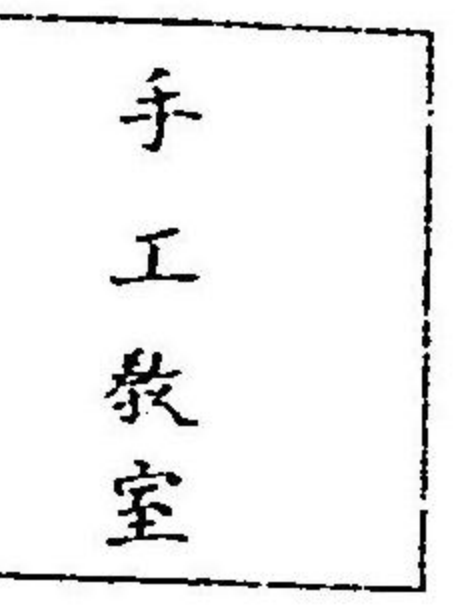
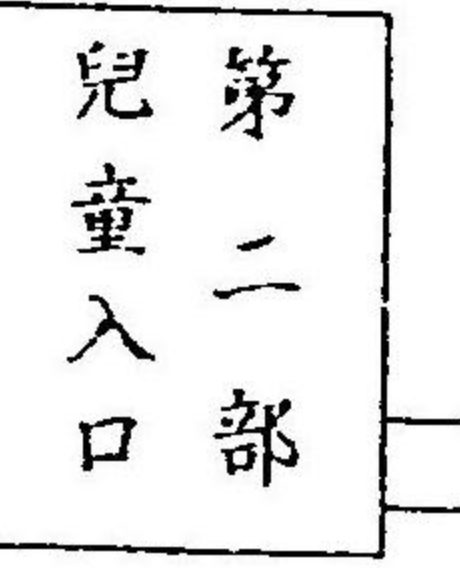
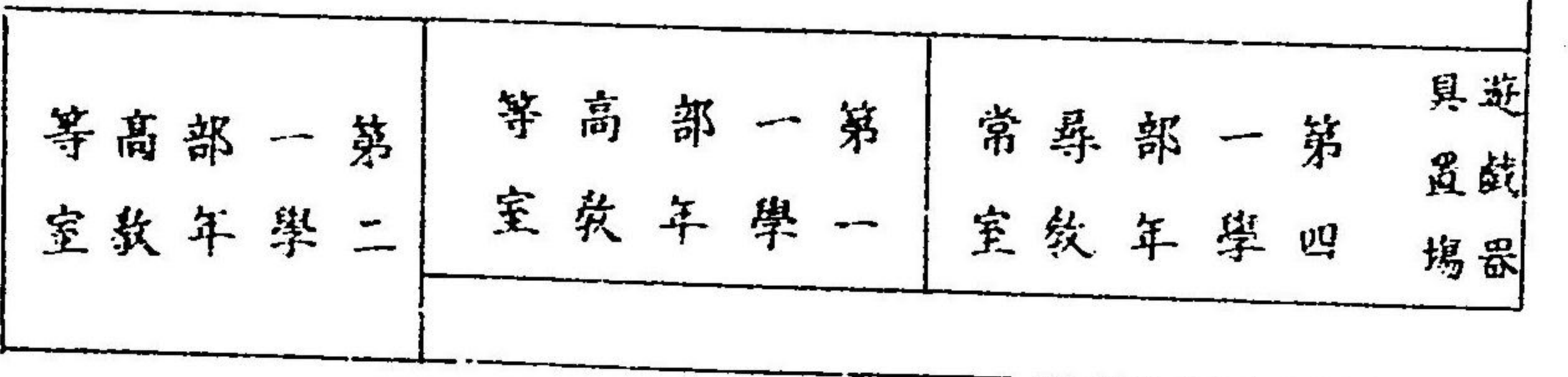


附



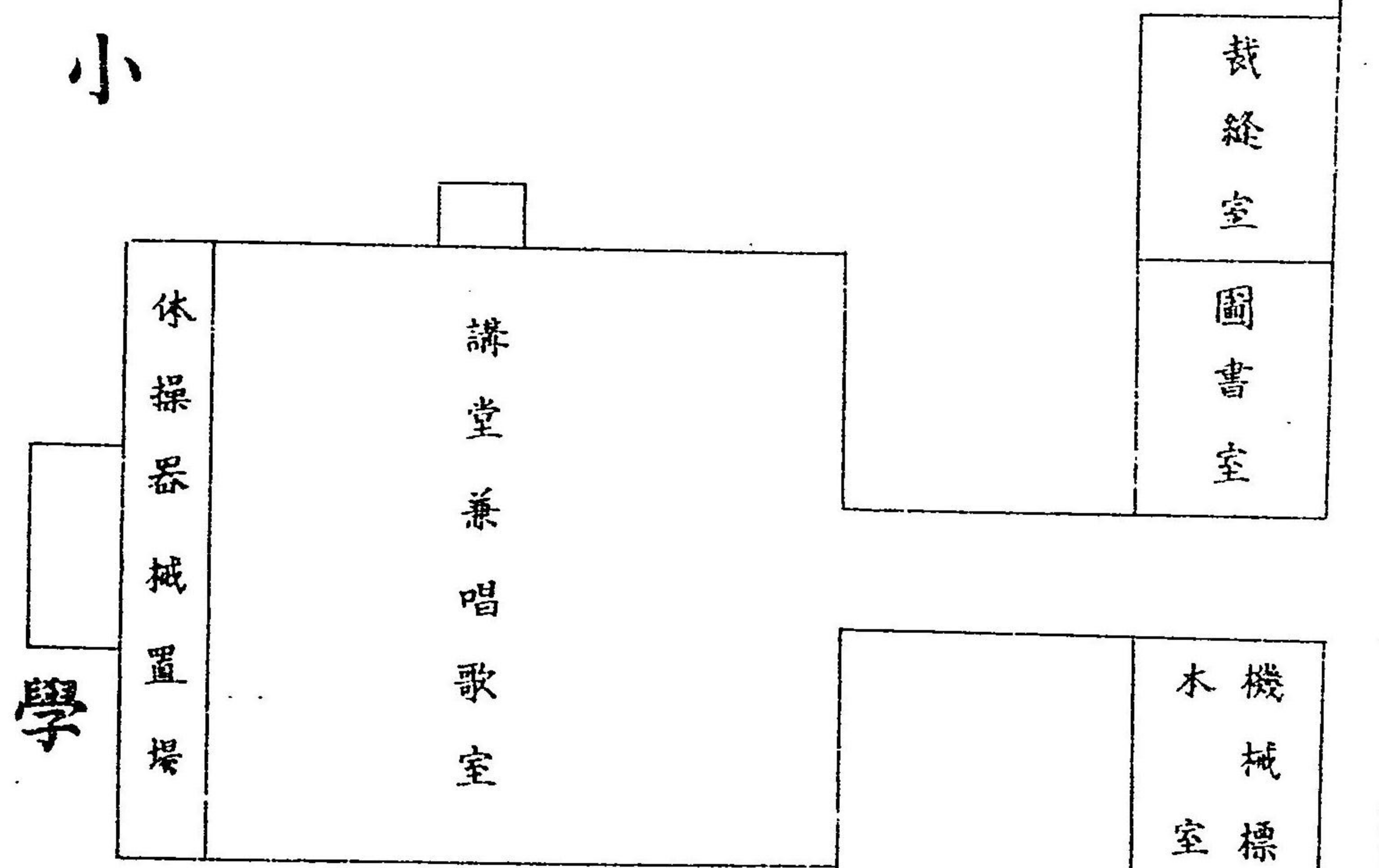
東門

屬



便所

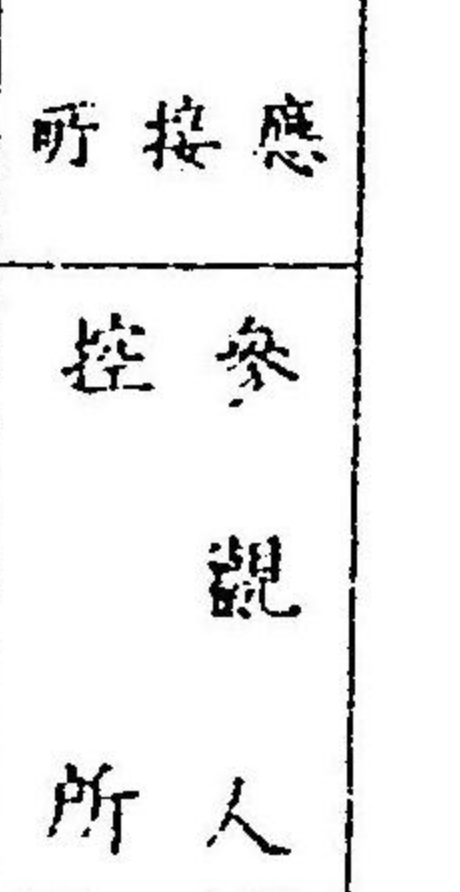
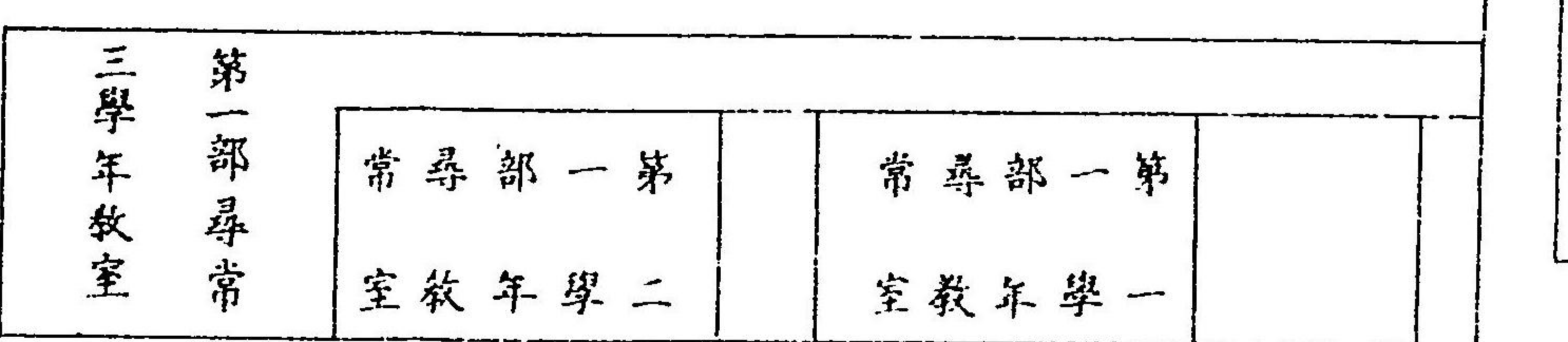
小



第一
部
第二
部

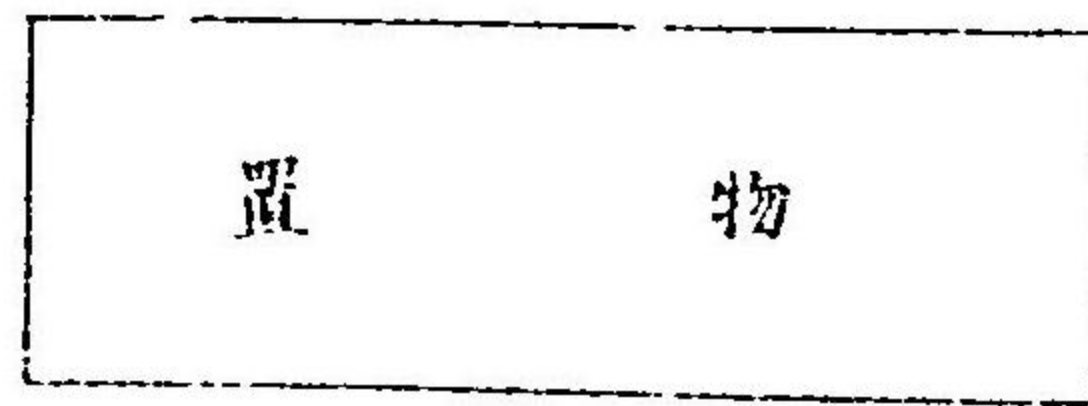
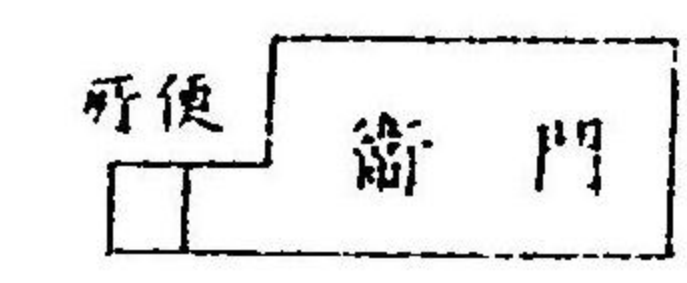
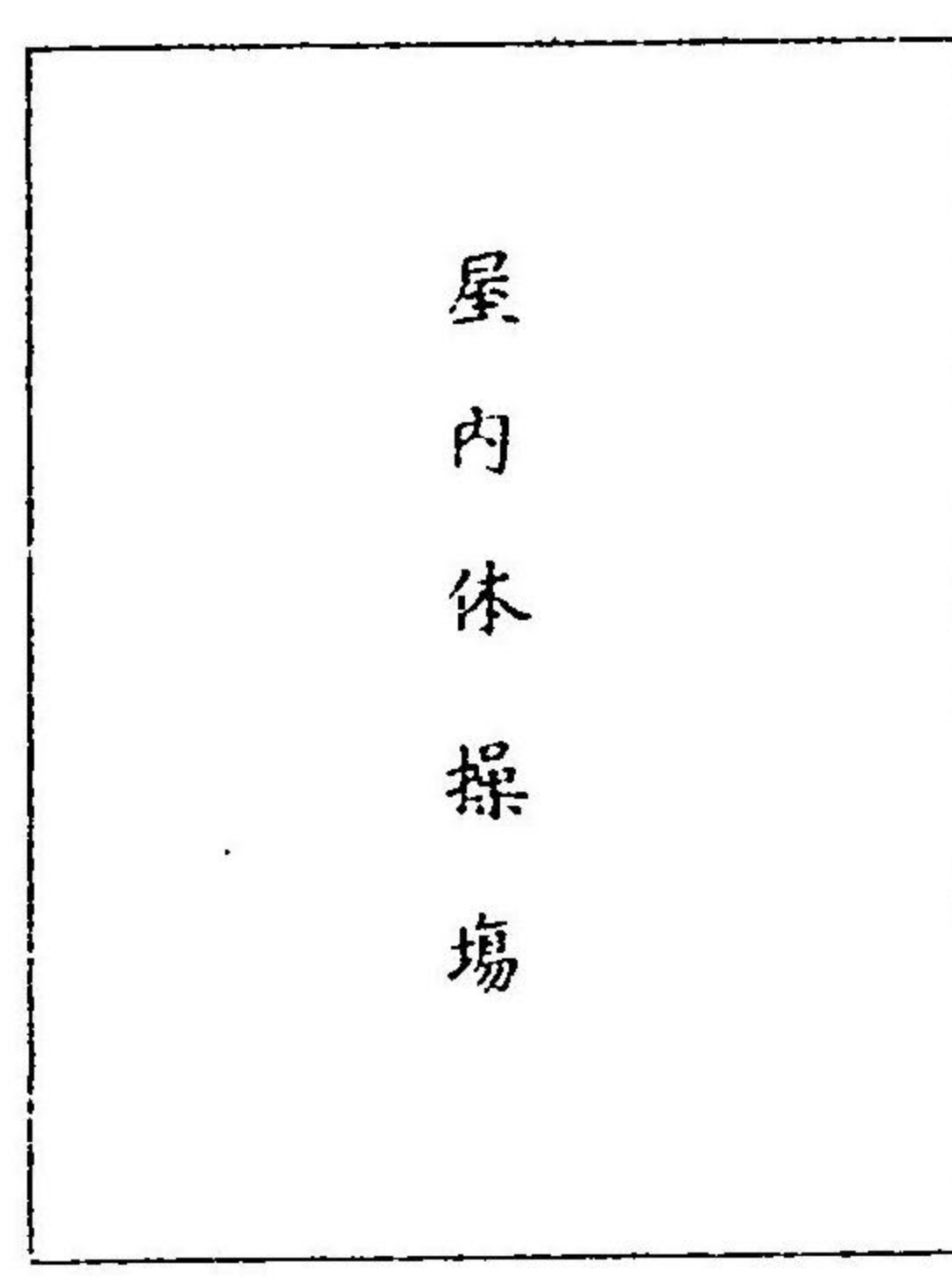
學

校



第一部
兒童
入口

教
生
室



校門

東京高等師範學校敷地建物(其二)

總地坪三千七百九拾三坪四合一勺二才
 本郷區湯島三丁目二十二番地



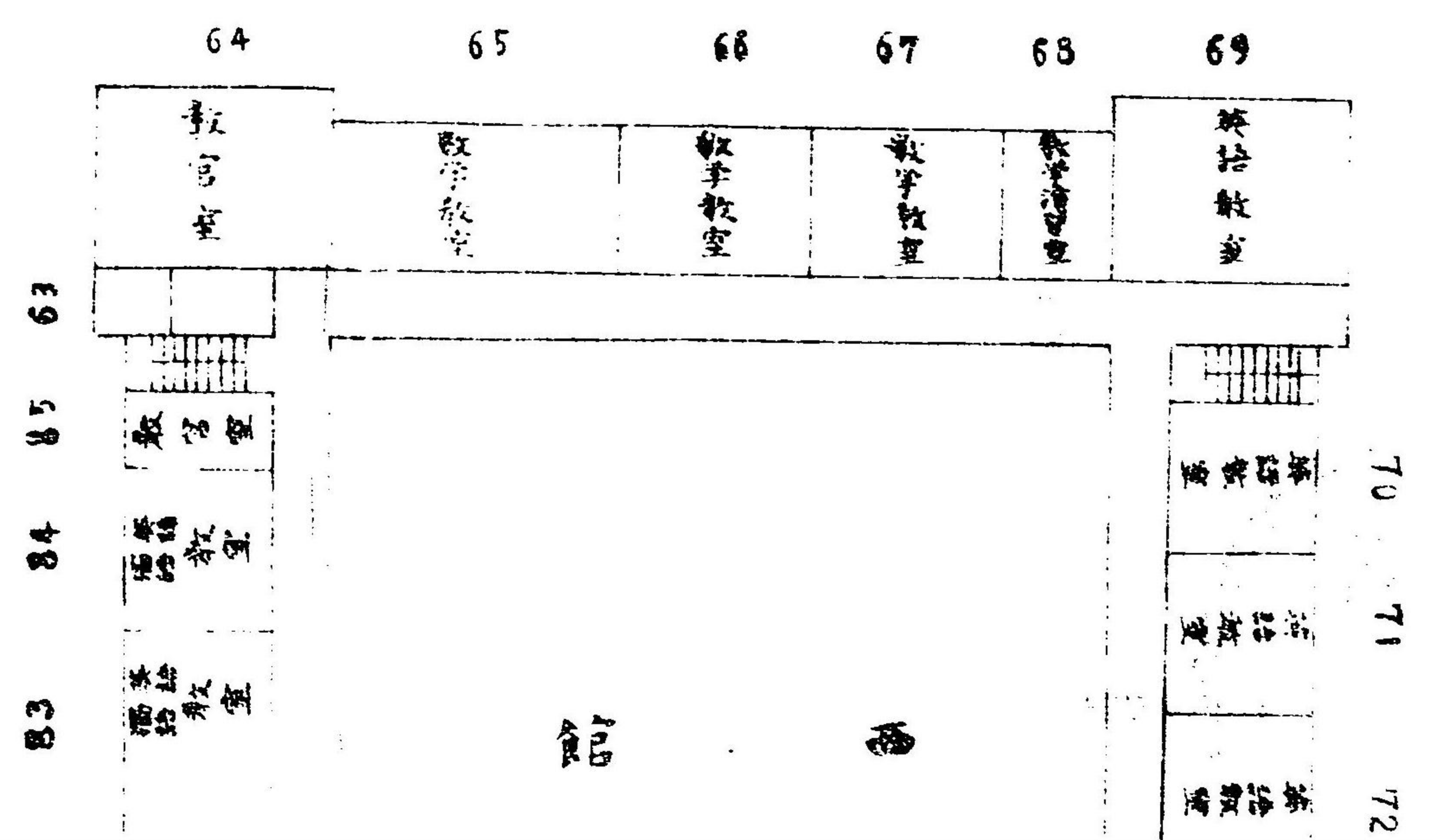
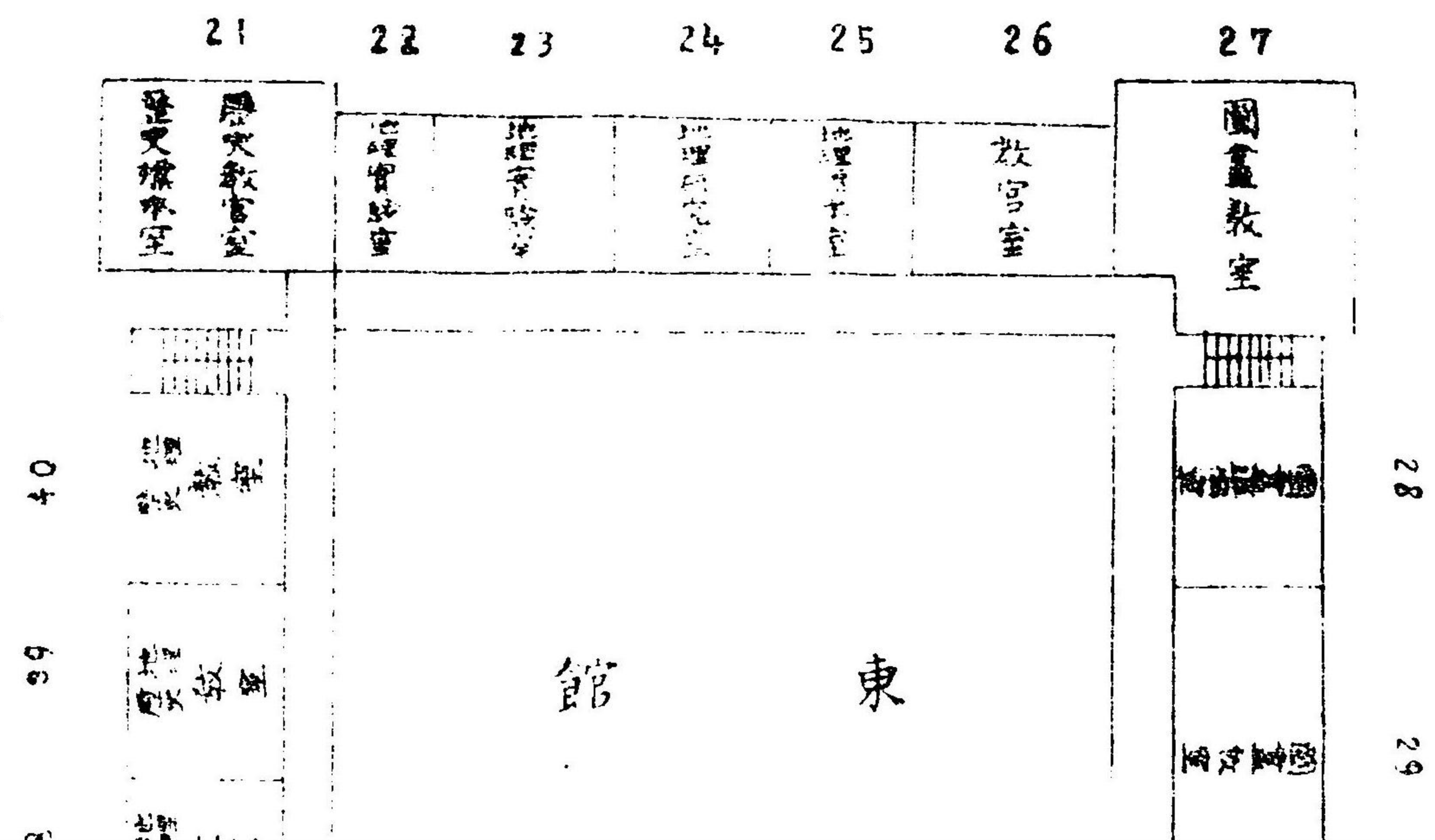
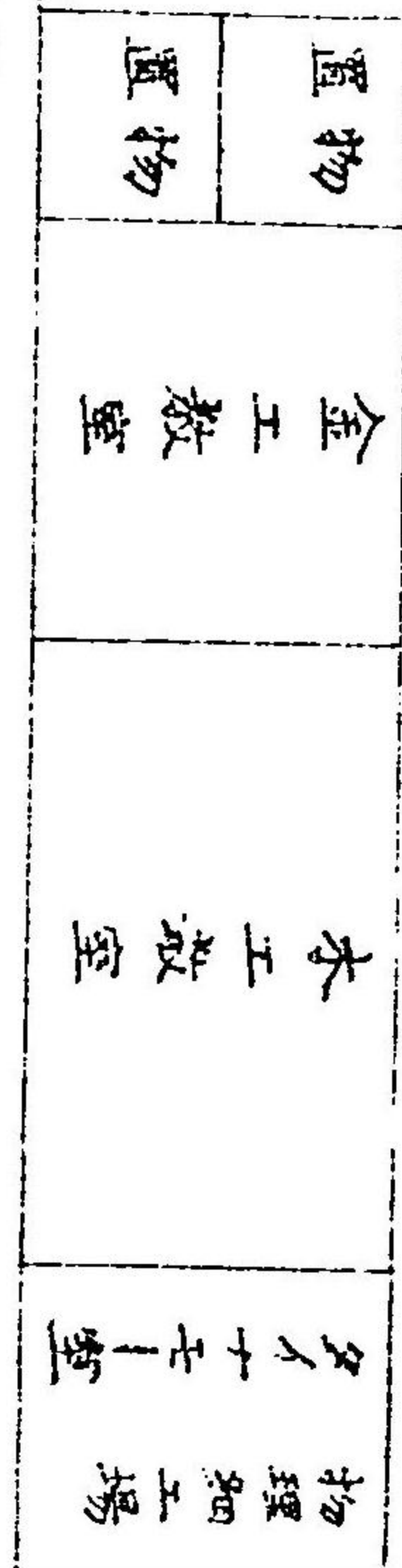
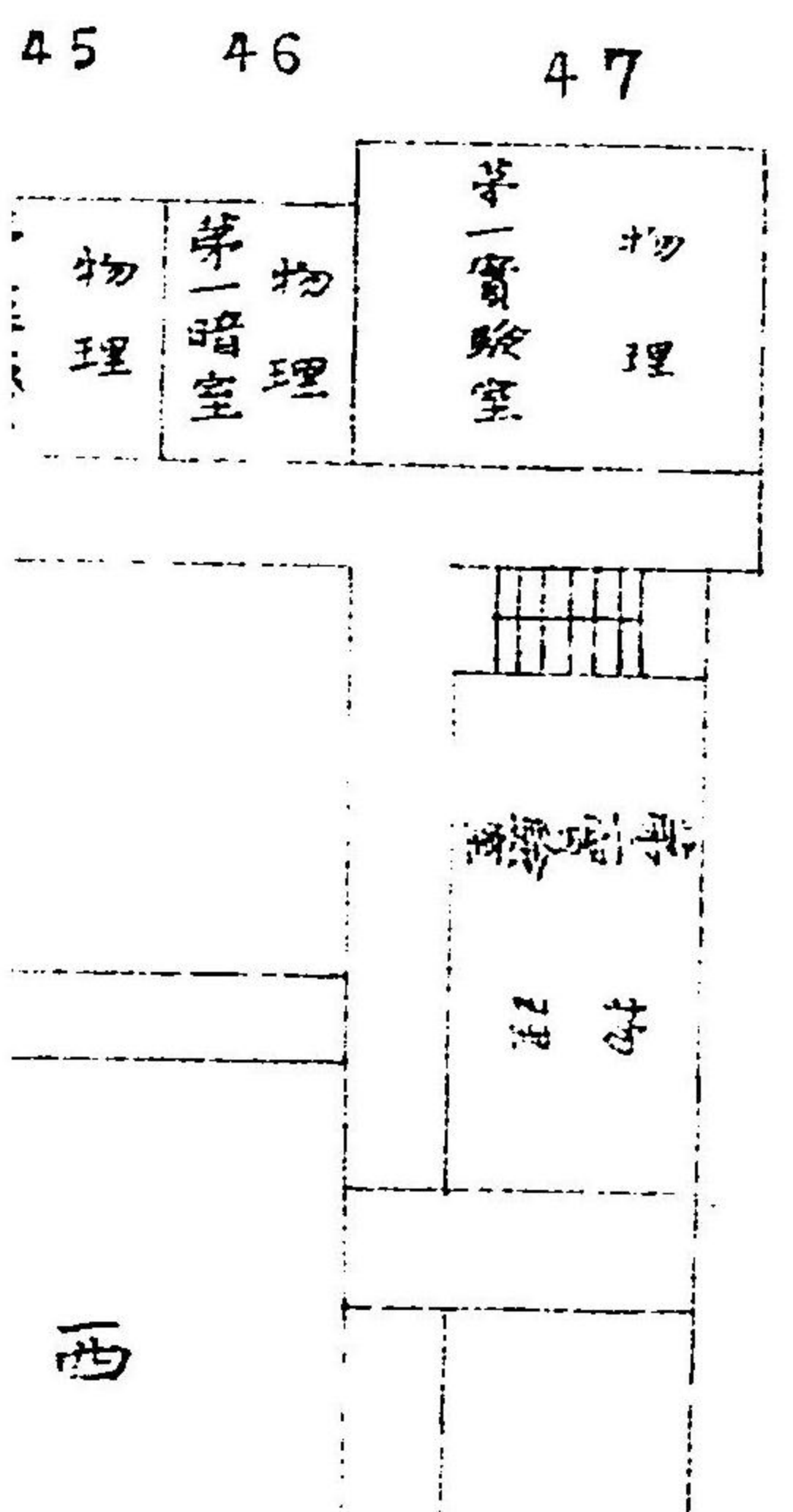
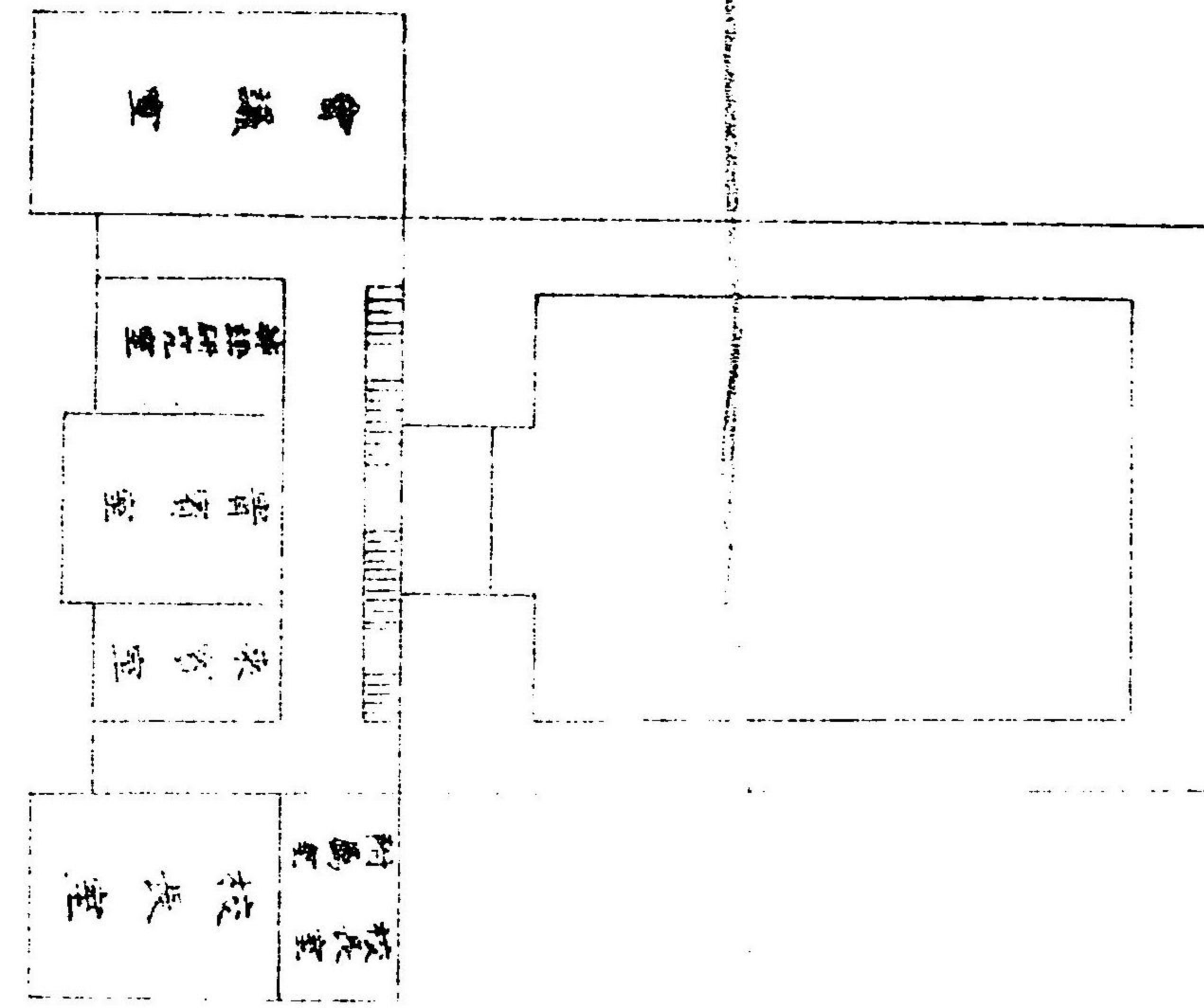
東京高等師範學校略圖 (小石川區塚窪町)

總地二坪五千五百六十八坪
 建坪三千八百九十九坪
 二階坪二十九百二十坪

植
物
園

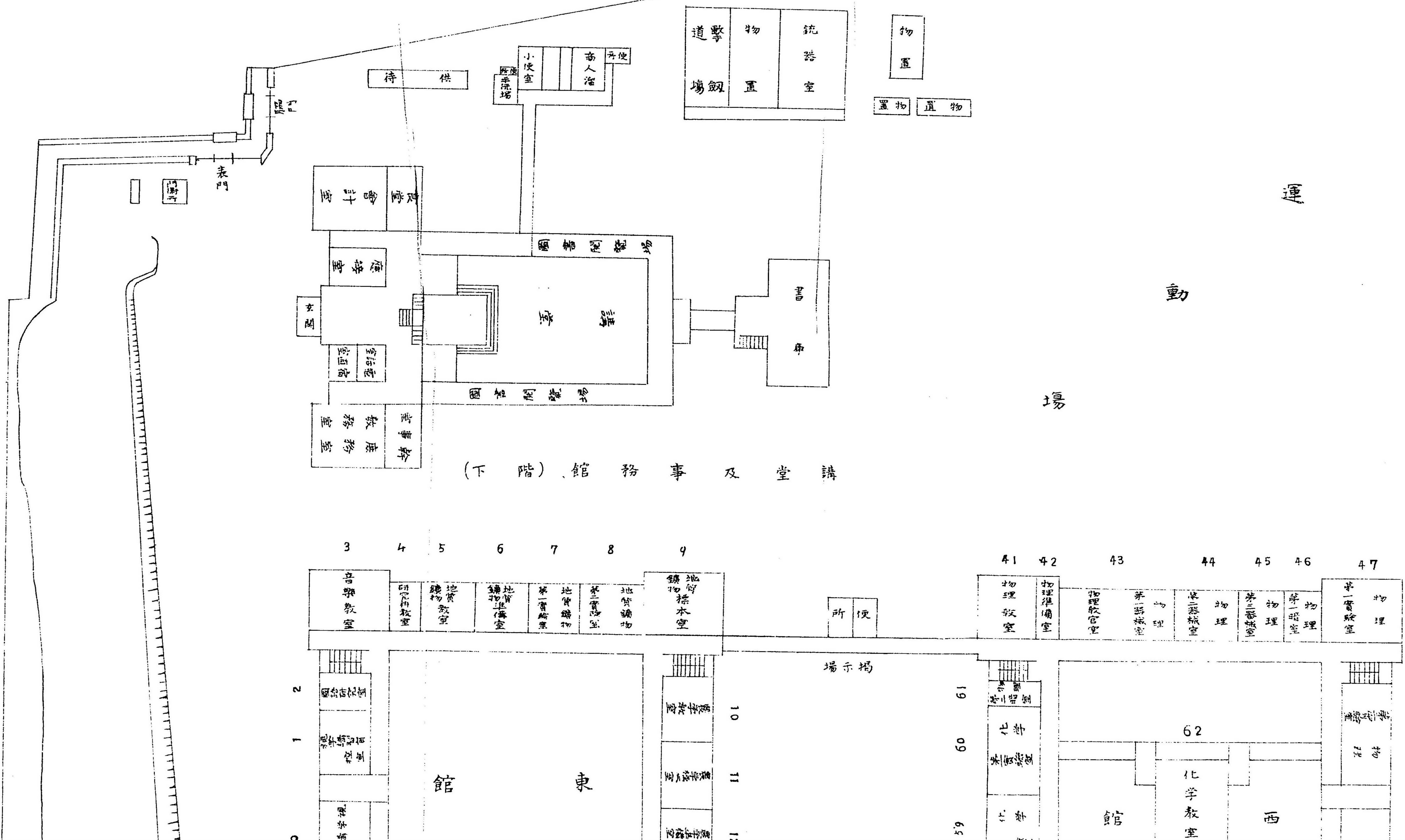
運

階
上



70
71
72

縮尺六百分之一

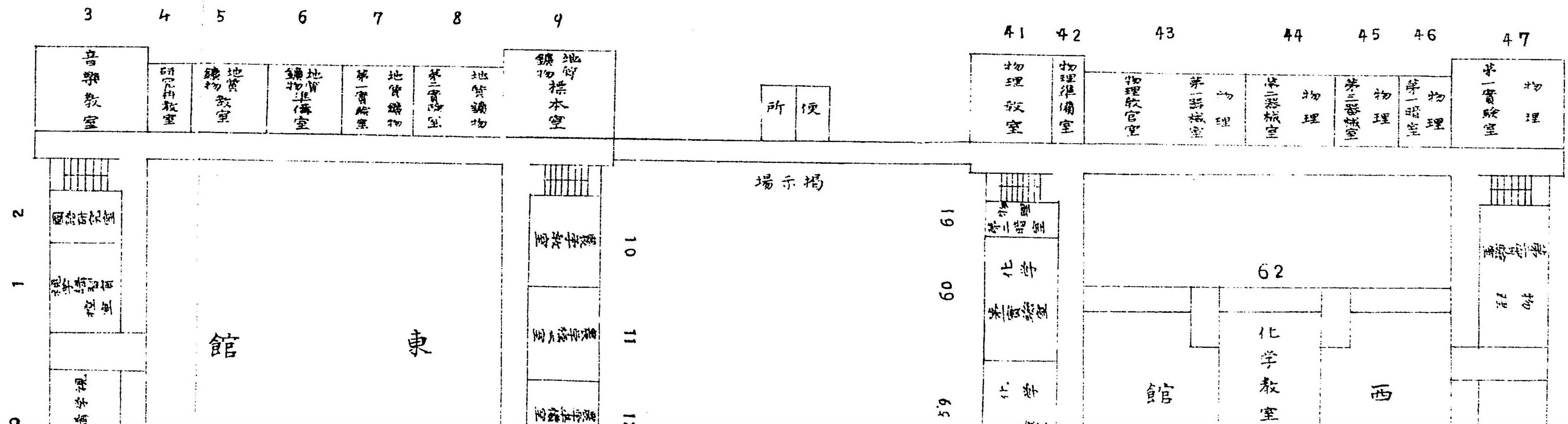


講堂及事務館(階下)

場

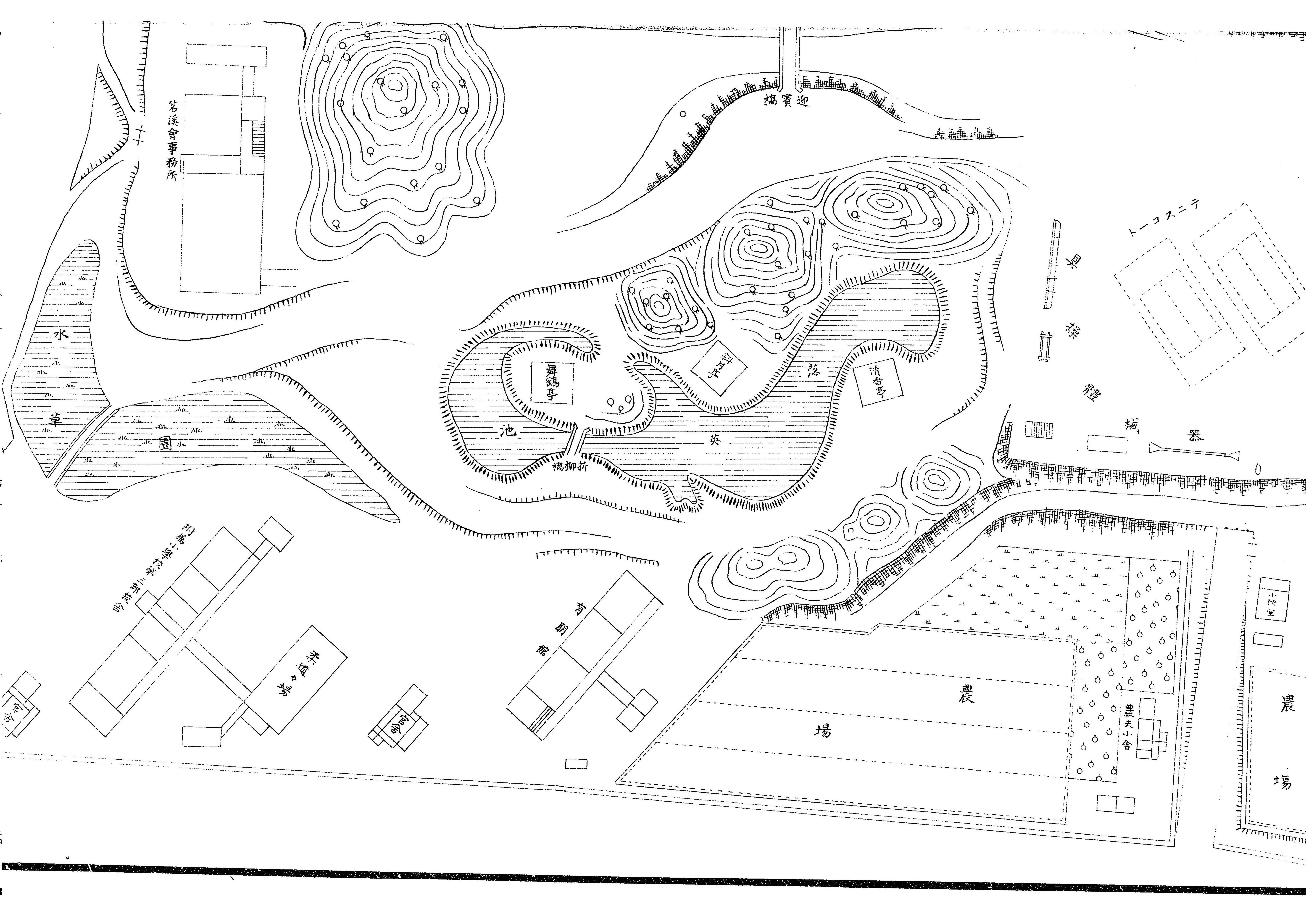
動

運



館 東

館 西



若溪會事務所

迎賓橋

水

草

舞鶴亭

池

英

落

清香亭

折柳橋

山形縣立第一高等學堂

林口園

育英館

農

場

農夫小舎

農

場

ニテスコ

堀

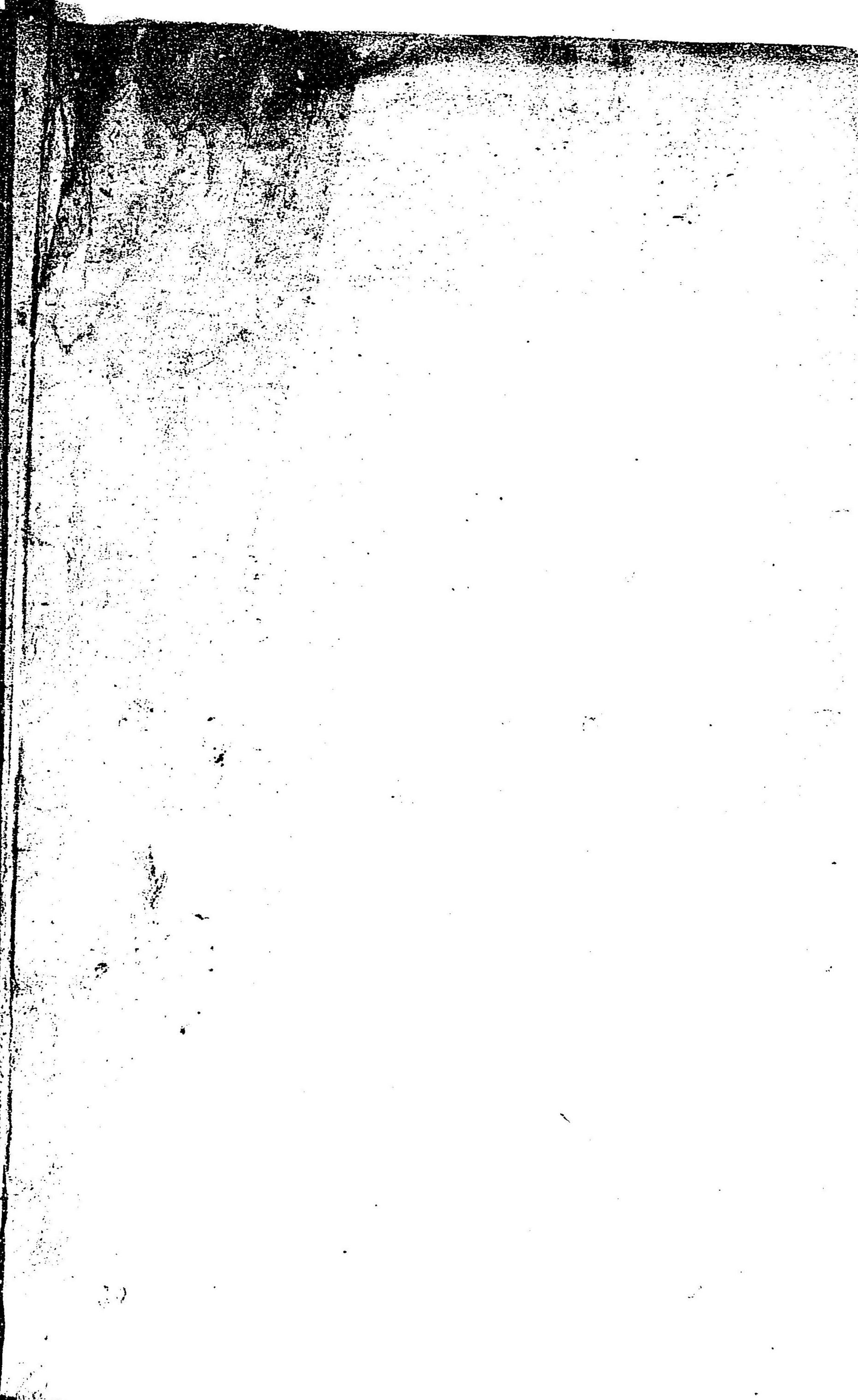
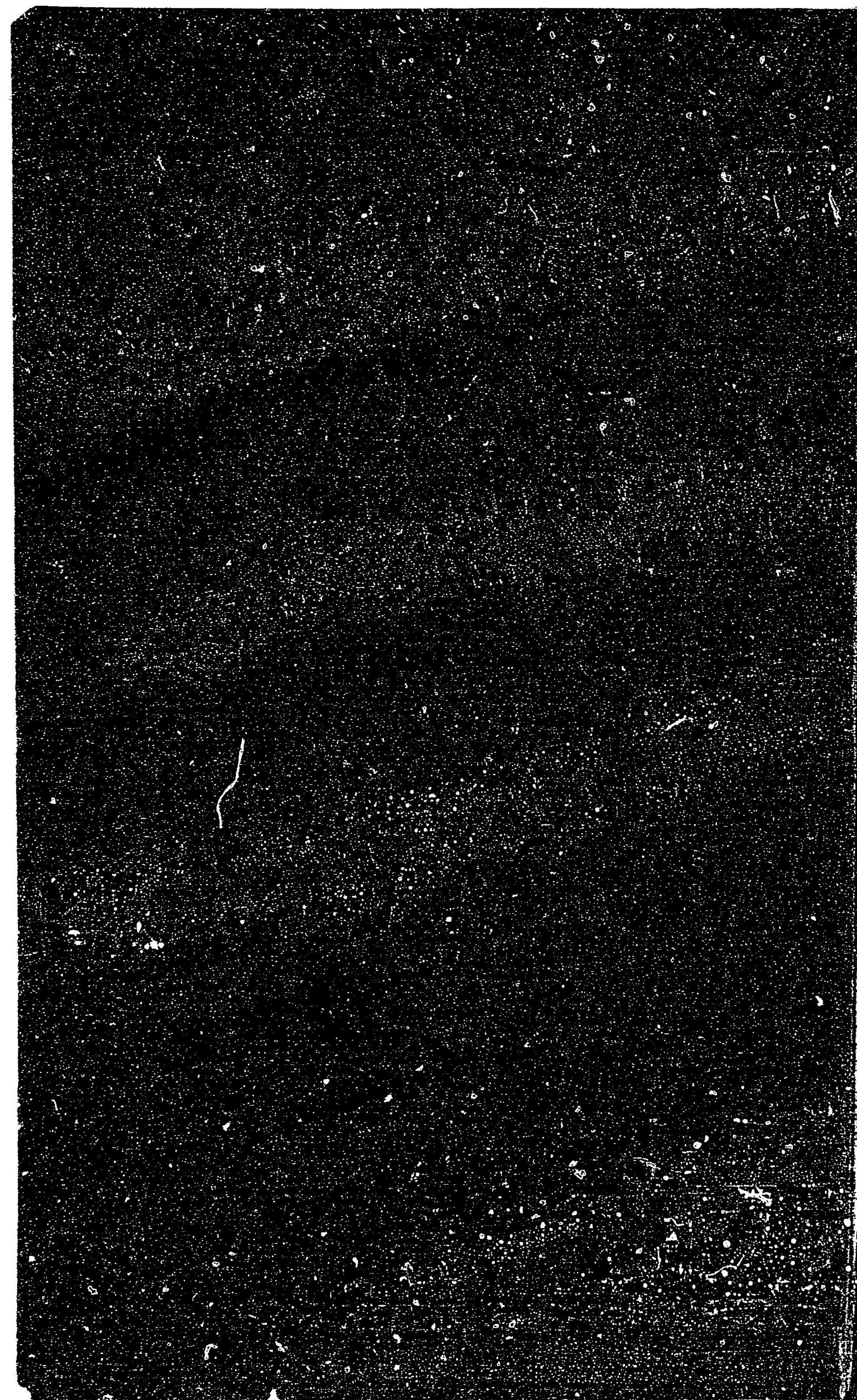
池

橋

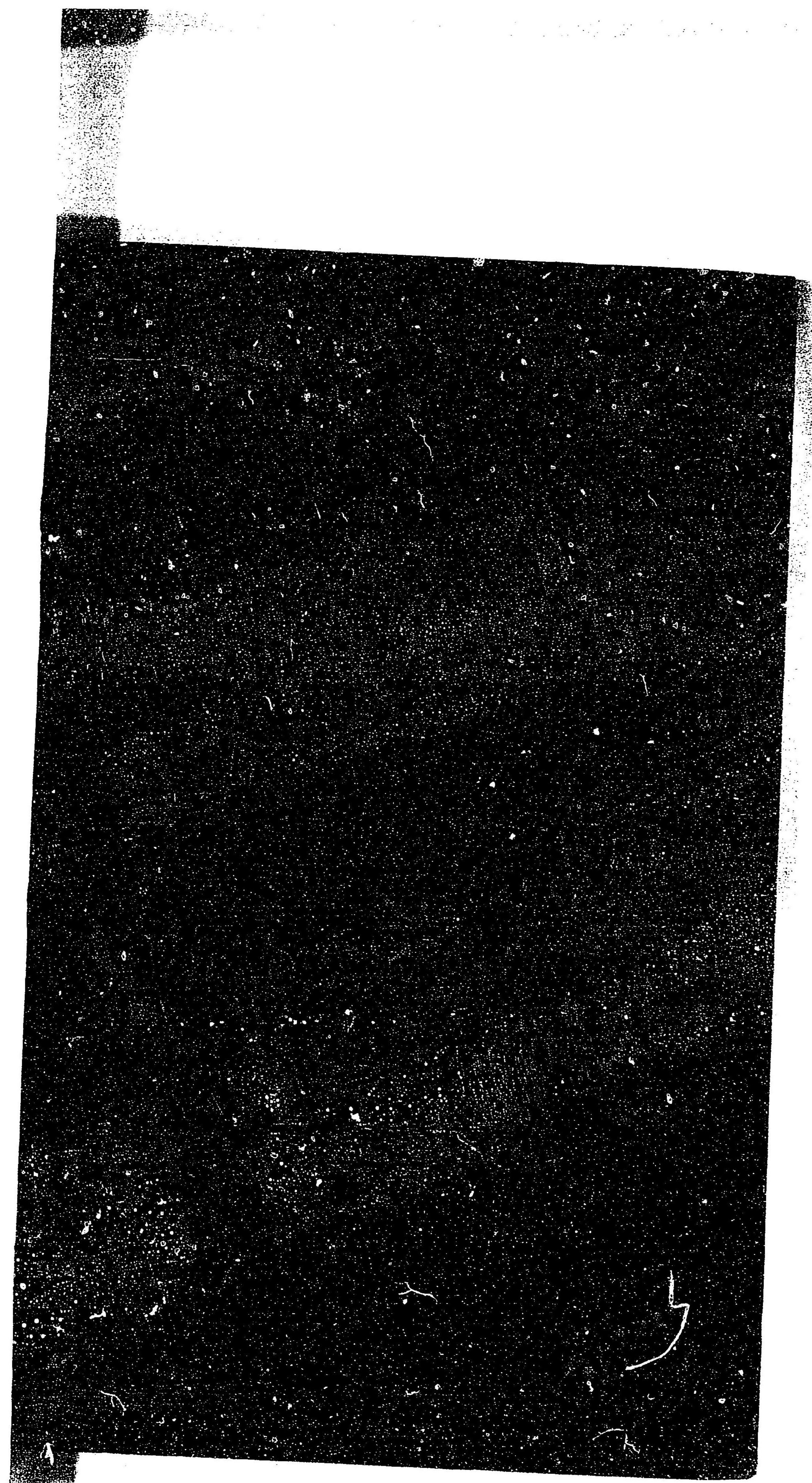
器

小使室

小使室



274
別冊
16



274

16

